

新館建設30周年

平成30年度

# 宮崎県立図書館要覧



初代館(明治35年～)



二代目館(大正4年～)



三代目館(昭和36年～)



新館(四代目館)(昭和63年～)



Live!  
Library

Miyazaki Prefectural Library

宮崎県立図書館

## <目 次>

..... 【第1部】 .....	
1 運営方針	2
2 平成30年度の主な取組	3
3 組織	6
4 当初予算	7
..... 【第2部】 .....	
1 資料概要	10
(1) 配架別・分類別資料数	10
(2) 資料購入の推移	10
(3) 資料整備状況	11
(4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	11
(5) デジタルアーカイブの状況	11
2 事業実績	12
(1) 利用事業（総括）	12
① 年度別貸出利用状況の推移	12
② 貸出利用地区別内訳	13
(2) 館内利用事業	14
① 延入室者数及び貸出冊数の推移	14
② 入館者数、登録者数、貸出冊数	15
③ 分類別図書貸出冊数	15
④ AVコーナー資料の利用状況の推移	15
⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）	16
⑥ 調査相談（レファレンス）	16
⑦ YA（ヤングアダルト）サービス	16
⑧ みどりの図書コーナー	16
⑨ 児童サービス	17
⑩ ビジネス支援サービス	17
⑪ 健康情報サービス	18
⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況	18
⑬ 複写サービス利用状況の推移	19
⑭ 各種相談事業	19
⑮ 障がい者等サービス	19
(3) 館外利用事業	20
① やまびこ文庫	20
② セット文庫	21
③ 子育て支援図書セット貸出	22
④ 団体文庫	22
(4) 図書館ネットワーク事業	23
(5) 訪問支援	24
(6) 視聴覚事業	24
① 視聴覚資料等貸出月別利用状況	24

② 視聴覚行事	24
(7) 関係機関と連動した情報発信事業	27
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	27
② 県内公共図書館における巡回展	29
(8) 文化活動事業	30
① 第59回「こどもの読書週間」関連行事	30
② 第71回「秋の読書週間」関連事業	30
③ 特別展等	31
④ 郷土史料等学習活動	32
⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業	33
(9) 郷土資料調査研究事業	35
① 『宮崎県史料』	35
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	35
③ デジタルアーカイブ事業	35
(10) ホームページ等活用事業	35
(11) 体験学習・施設見学	36
(12) 「かば先生文庫」	36
(13) 講演会等の主催・共催	37
① 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」	37
② 若山牧水没後90年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう」	37
③ 名誉館長文化講演会	38
④ 「神話のふるさと県民大学」	38
⑤ 「わくわく文芸講座」	39
⑥ 「みやざき自然塾コロキウム」	39
(14) その他の取組	40
① 「文章づくり教室」	40
② プレミアムフライデーは県立図書館へ！	40
③ 「大人のためのおはなし会」	40
④ 「理科読」出前授業	41
3 各種協議会等	41
(1) 県立図書館協議会	41
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	42
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	44
(4) 平成30年度宮崎県立図書館資料推薦委員	46

..... 【参考資料】 .....

1 沿革	48
(1) 県立図書館の歩み	48
(2) 歴代館長名	58
2 県立図書館条例・規則	59
3 施設概況	65
4 利用案内	66
5 市町村立図書館一覧	67

## 【 第 1 部 】



地産地消を進めよう！ディスカバー宮崎（宮崎再発見）パネル展

県立図書館では、県の重点施策や地域の課題等について広く県民の皆様を知っていただくとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的に「県政の重点施策情報発信事業」を実施しています。

平成29年度は、県や国等の関係機関と連携し、68事業のギャラリー展をはじめ各種イベントや相談会等を実施しました。



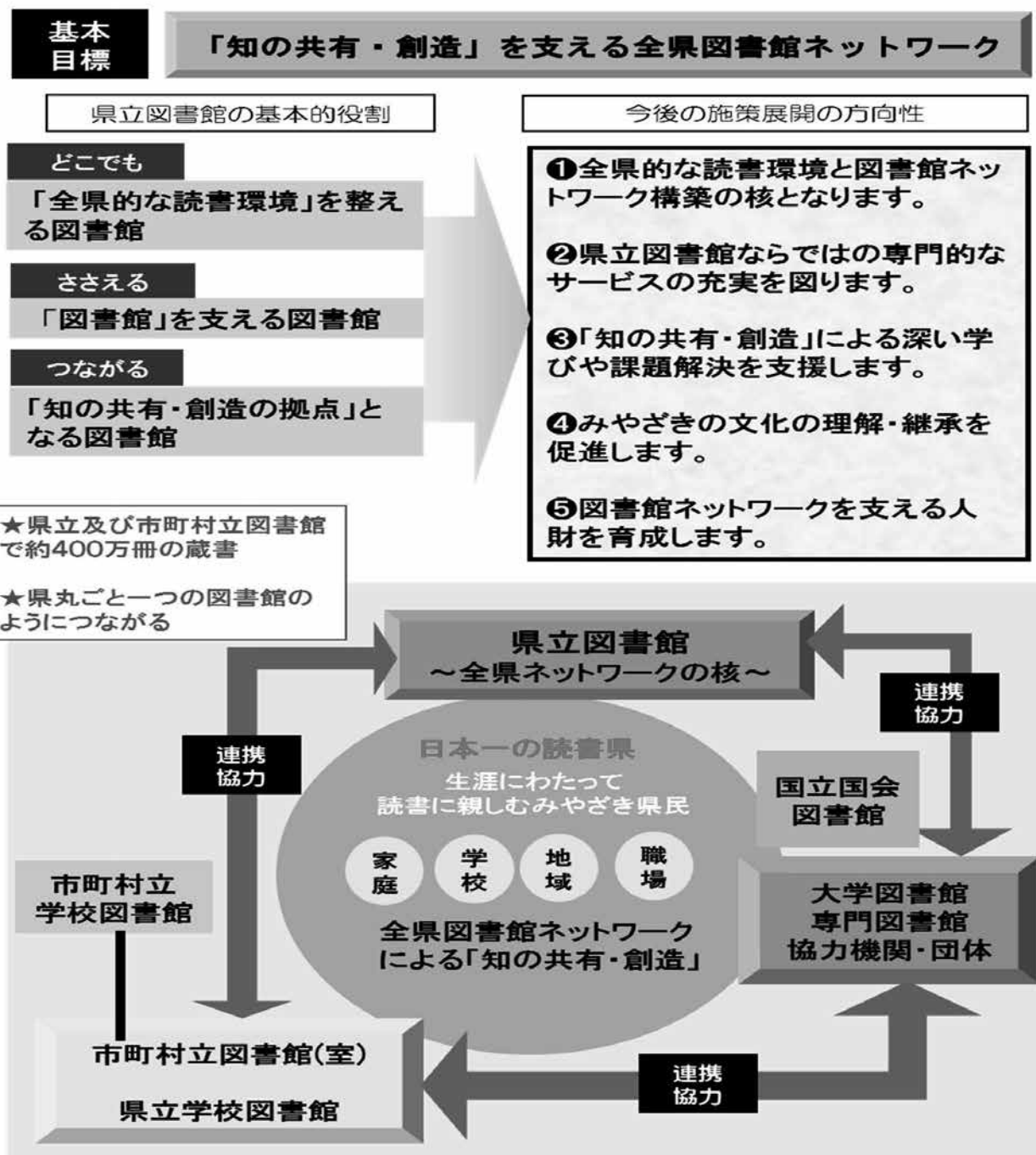
# 平成30年度宮崎県立図書館運営方針等について

## 1 運営方針

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にした平成30年度から向こう10年間の「県立図書館ビジョン」を、平成29年12月に策定しました。

当該ビジョンにおいては、「知の共有・創造」を支える全県的な図書館ネットワークを基本目標に掲げて、県立図書館を核に、市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館等との連携・協力により、県内の図書館全体の振興を図ることとしています。

### ■県立図書館ビジョンの全体像



そして、これを具体化し、着実に実行するため、平成30年度から向こう3年間に優先的に取り組む施策や数値目標等を定めた「第1期アクションプラン」を、平成30年3月に策定したところです。

このため、平成30年度においては、これらを踏まえ、下記の5つの「今後の施策展開の方向性」に沿った施策を積極的かつ総合的に展開します。その中で、「重点取組事項」として下記の3つを定めます。

### 《今後の施策展開の方向性》

- I 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核
- II 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実
- III 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援
- IV みやぎの文化の理解・継承の促進
- V 図書館ネットワークを支える人財の育成

### 《重点取組事項》

- 事項1 県民の「生涯読書活動」の推進
- 事項2 学校図書館の支援
- 事項3 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

## 2 平成30年度の主な取組

### (1) 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

- ① 図書配送システム「マイラインサービス」や「やまびこ文庫」の制度周知を積極的に行うとともに、「マイラインサービス」の接続先の拡充について必要な協議・検討を行う。
- ② 県立図書館内の組織横断的な「市町村支援チーム」によって市町村立図書館（室）等を定期的に訪問し、読書振興、資料収集・保存、施設運営等についての支援を行う。
- ③ 公立図書館職員の資質向上に資するとともに県民の読書振興や課題解決につながる専門性の高い研修を実施する。
- ④ 県立学校の学校司書等との連携を密にして学校図書館の運営やスキル向上のための支援を行うとともに、関係機関と連携して学校図書館を活用した学習活動の支援や市町村立図書館（室）と学校図書館の連携などに関する調査研究を行う。
- ⑤ 市町村立図書館（室）、学校図書館及び大学図書館等の職員との情報共有・意見交換を積極的に行い、「顔の見える関係」づくりを進める

- ⑥ 宮崎大学をはじめとする県内の大学との連携協力を推進する。
- ⑦ 所蔵資料の収蔵対策の検討、老朽化対策、危機管理対策及び次期図書館情報システムの検討に取り組む。

## (2) 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

- ① レファレンスサービスの充実を図るため、専門機関との連携を進めるとともに、国立国会図書館協同データベースの活用や担当職員の能力向上に努める。
- ② 市町村立図書館（室）との役割分担により、専門的な資料・情報の計画的な収集・整理・保存・提供に努める。
- ③ 新学習指導要領に対応した調べ学習用図書を選定・収集を行うとともに、「世界ブランド」を目指す分野について、市町村立図書館（室）と連携して資料の収集・共有に努める。
- ④ 「乳幼児や小学生」「中・高校生」「大学生・若者」「子育て・就労世代」「高齢者」「障がい者」の「生涯読書活動」の推進を図るとともに、中・高校生向けの「おすすめの本」の募集・普及やモデル性の高い読書スタイルの提案・実施に取り組む。
- ⑤ 読書に係る知識・技術の向上に向けた研修など、読書活動推進団体に対する支援を行う。
- ⑥ ビジネス支援サービスや医療・健康情報支援サービスの強化を図る。

## (3) 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

- ① 当館の情報資源や取組の紹介、課題解決に向けた情報提供を、ホームページをはじめSNS、広報誌等を通じてよりわかりやすく、かつ、適時・的確に行う。
- ② 利用者の深い学びやより効率的な課題解決が促進されるよう、効率的・多面的な情報アクセス環境の整備に努める。
- ③ 相談のワンストップサービスの窓口としてのスキル向上に努めるとともに、関係機関・団体等との連携を推進する。
- ④ ギャラリー展、各種相談事業、調べ学習の受入れ・支援等、多様な情報サービスや学習機会の提供に努める。
- ⑤ 地域の「知の拠点」としての蔵書、データベース等の情報資源やレファレンス機能の充実・強化を図りながら、個人や団体、産学官の関係者など多様な主体が集い、図書館の施設や情報資源を活用しながら対話や議論を通じて学びを深める「知の共有・創造」の場づくりを促進する。

- ⑥ 県行政機関や県内自治体への参考情報等の周知やレファレンスなど、政策立案に対する支援を行う。
- ⑦ 地域の課題解決に向け、市町村立図書館（室）が行うレファレンスや市町村職員の資質向上を支援する。

#### (4) みやざきの文化の理解・継承の促進

- ① 市町村立図書館（室）に対する調査や情報交換を通じて県と市町村の役割分担を検討・整理しつつ、地域資料の収集計画を策定し、効率的・効果的な収集・保存に努める。
- ② 特別展や企画展を通じて、歴史・文化はもとより、自然や産業など幅広い地域情報の発信を行う。
- ③ 県立図書館及び市町村立図書館等の所蔵する地域情報に関する貴重資料の調査を行い、情報の集約に努め、デジタル化・データベース化を推進する。
- ④ 本県の言語文化の継承のため、神話・民話の「語り部」の養成を行い、活用を推進する。
- ⑤ 本県の言語文化の素晴らしさを後世に伝えるため、『みやざきの言の葉』のさらなる普及・活用を図る。

#### (5) 図書館ネットワークを支える人財の育成

- ① 幅広い知識や技能、実務能力及びネットワーク力を有する人財の育成・確保に計画的に取り組む。
- ② 専門的な実務能力の向上を図るための研修や、利用者サービスの向上に資する研修等を行い、職員の全体的な資質向上に努める。
- ③ 高度なニーズに対応できる幅広い知識や技能等が得られる人事配置のあり方を検討する。
- ④ 市町村立図書館（室）との人事交流や中長期の研修受入れについて、市町村の意向を踏まえながら検討する。
- ⑤ 図書館の運営やサービスの動向等に関する情報収集や、職員が受講した専門研修の成果の全職員での共有に努め、館全体でのスキル向上を図る。
- ⑥ 利用者ニーズや社会の動向等を踏まえて運営やサービス等の改善に取り組むとともに、図書館評価（自己評価及び外部評価）を毎年度実施し、随時必要な業務改善に努める。



### 3 組織

#### (1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	専門主幹	課長	主幹	副主幹	主査	主任主事	主事	社会教育主事
現員25	1	1	1	2	5	1	9	0	3	2

#### (2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p>	<p>総務・企画課 齋藤 謙</p>	<p>総務担当 阿波野 ゆかり 宮之原 あい 森田 千尋 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入</li> <li>・庁舎管理(施設・設備管理、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理</li> <li>・給与及び旅費、報酬、賃金、報償、臨時職員の任用、非常勤職員の勤務・休暇整理</li> <li>・文書管理</li> <li>・連絡調整(館内、環境情報センター、全国公共図書館協議会、日本図書館協会、九州図書館長会等)</li> <li>・館内行事予定(週間行事、日々行事等)</li> </ul>	
		<p>企画担当 柳橋 俊翁 中 啓子 大木 一成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会</li> <li>・図書館広報、県政の重点施策情報発信事業(ギャラリー展及び関連イベント)</li> <li>・図書館情報システム、ホームページ及びフェイスブック、情報セキュリティ等の運営管理</li> <li>・「知の共有・創造」の場づくりの企画・運営</li> <li>・モデル的な読書スタイルの企画・提案</li> <li>・職員研修、図書館実習・職場体験学習等</li> <li>・各種相談事業等の共催、調査統計</li> </ul>	
		<p>資料管理担当 安藤 道子 湯浅 朋宏 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 2名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本)</li> <li>・資料の収集方針、管理計画</li> <li>・購入・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入</li> <li>・資料費・装備用消耗品の管理</li> <li>・資料推薦委員、特別整理期間</li> </ul>	
<p>館長 金子 洋士</p>	<p>副館長 本田 潤一</p>	<p>専門主幹 野邊 文博</p>	<p>普及支援担当 曾我部 美佳 松原 貴子 前村 泰輔 飯野 小巻 非常勤奉仕相談員2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援</li> <li>・公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計</li> <li>・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用</li> <li>・マイライン制度運営管理</li> <li>・視聴覚事業、AVコーナーの管理</li> <li>・読書団体振興、施設利用(読書振興室)</li> <li>・未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業</li> </ul>
<p>郷土情報担当 崎田 一郎 甲斐 薫 非常勤郷土資料研究員1名 非常勤郷土資料調査員1名 非常勤奉仕相談員1名</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資料の収集・保存・活用</li> <li>・貴重資料の整理・保存・活用、デジタルアーカイブ</li> <li>・県地方史講座(文化講座・古文書解読講座)</li> <li>・展示会(特別展・企画展・巡回展)</li> <li>・地域情報の参考相談</li> <li>・宮崎県地方史研究連絡協議会事務局</li> </ul>	
<p>情報提供課 堀永 昌平</p>			<p>情報提供担当 加藤 恵 戸高 瑞代 川野 香 下園 名奈美 上米良 綾子 若松 里奈 非常勤奉仕相談員 11名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書室・閲覧室の運営管理</li> <li>・レファレンスサービス、相互貸借</li> <li>・健康情報、学校支援、行政資料、法律情報</li> <li>・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス</li> <li>・書庫、児童文化研究室、青少年わかばコーナーの運営</li> <li>・複写サービス、各種講座、見学等利用者支援</li> <li>・資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約</li> <li>・利用データの統計・管理</li> <li>・高齢者や図書館利用に障がいのある方へのサービス</li> </ul>

## 4 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	1,359 千円	
財産運用収入	1,359	
財産貸付収入	1,359	
公募型財産貸付料	1,359	
繰入金	2,035 千円	
基金繰入金	2,035	
産業廃棄物税基金繰入金	1,240	
産業廃棄物税基金	1,240	
みやざき人財づくり基金繰入金	795	
みやざき人財づくり基金	795	
諸収入	829 千円	
雑入	829	
雑入	829	
雑入	829	電子複写 555,000 円 電気・水道使用料 274,000 円

(歳出)

事業名	予算額	事項名	説 明
	千円	千円	
図書館費	127,046	1 管理運営費 74,992	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会 230	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
		3 県立図書館老朽化対策事業 51,824	屋上防水改修工事(工区1)に要する経費
奉仕活動 推進費	114,681	1 館内奉仕・巡回文庫用資 料整備 40,217	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経 費
		2 郷土新聞保存整備事業 1,023	郷土新聞の保存に要する経費
		3 館内奉仕活動費 66,509	資料の提供、非常勤職員人件費等、調査相談業務 及びコンピュータ運用に要する経費
		4 文化活動推進費 402	文化講座(年3回)、古文書講座(年6回)開催に要す る経費
		5 読書普及推進費 319	団体文庫の育成、読書普及活動の推進に要する経 費
		6 AV活動推進費 1,441	AV機器及びAV資料の管理、映写会、コンサート、A V資料貸出等に要する経費
		7 図書館ネットワーク推進事 業 1,170	図書配送費、公用車燃料費、市町村図書館支援の ための派遣旅費
		8 インターネットホームページ 事業 346	インターネットホームページによる資料提供に要する 経費
		9 みどりの図書館づくり推進 事業 1,186	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要 する経費
		10 図書館情報システムセキュリ ティー強化対策事業 764	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティー 対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		11 未来へつなぐ宮崎の民話・ 神話継承人財育成事業 795	神話・民話講演会、パネル展、語り部養成講座、語り 部のつどいに要する経費
		12 「本で世代をつなぐ」読書活 動推進事業 509	おすすめの本作品募集・表彰、トークセッションに要 する経費
郷土資料 調査研究 事業推進費	6,975	1 史料刊行費 3,890	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 貴重資料の修復・保存 3,085	貴重資料の修復・保存に係る非常勤職員報酬等
合 計	248,702		

## 【 第 2 部 】



トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」

県民の誰もが生涯にわたって読書に親しむ「日本一の読書県」づくりに向けた取組に関連する企画として、県内の高校生を対象に「おすすめの一冊」を募集しました。

25校・565名の応募の中から入選者10名を決定。このうち4名を招いて平成29年12月に開催した歌人の伊藤一彦名誉館長、俵万智氏とのトークセッションでは、おすすめの一冊から得られた感動や体験、読書への熱い思いなどを会場全体で分かち合いました。

## 1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶺南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

### (1) 配架別・分類別資料数（平成30年3月31日現在）

単位（冊・点）

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	10,635	923	36,555	932	376	376	49,797	6.5
1 哲学	4,938	262	18,509	907	110	3	24,729	3.2
2 歴史	13,572	1,542	51,896	2,746	918	299	70,973	9.2
3 社会科学	24,176	2,442	136,727	5,170	2,319	360	171,194	22.2
4 自然科学	13,719	3,848	38,842	5,224	1,112	23	62,768	8.1
5 技術	12,913	1,485	36,176	5,185	762	22	56,543	7.3
6 産業	11,544	847	34,438	1,990	520	10	49,349	6.4
7 芸術	10,268	2,739	39,577	4,733	7,574	81	64,972	8.4
8 言語	3,104	595	9,326	940	155	52	14,172	1.8
9 文学	26,305	17,655	128,517	34,988	315	175	207,955	26.9
計	131,174	32,338	530,563	62,815	14,161	1,401	772,452	100.0

### (2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

区分	25		26		27		28		29	
	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額	購入数	金額
図書	9,677	33,621	7,828	24,810	11,732	35,361	14,038	43,147	11,363	33,454
逐次刊行物	4,112	6,358	3,099	5,028	3,303	4,954	3,351	5,225	3,449	5,543
A V 資料	69	1,197	133	862	74	1,194	90	1,004	70	1,323
計	13,858	41,176	11,060	30,700	15,109	41,509	17,479	49,376	14,882	40,320

※26・27年度は子ども読書活動推進事業を含む。

※28年度は日本一の読書県を目指した総合推進事業を含む。

## (3) 資料整備状況

## ① 資料受入（平成30年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	平成29年度受入資料数		総資料数
図 書（A）	15,022		704,546
逐次刊行物（B）	4,960	新聞 45種	49,043
		雑誌 402種	
A V 資料（C）	454		18,863
合 計（A+B+C）	20,436		772,452

## ② 資料受入区分別・分類別資料数（平成30年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	復 活	その他	合 計
0 総 記	1,044	459	75		40	3	3		3	1,627
1 哲 学	280	80					4		10	374
2 歴 史	934	374			1	4	4		2	1,319
3 社会科学	2,631	1,702	7		21	64	4		31	4,460
4 自然科学	1,524	284			24	9	13		24	1,878
5 技 術	1,846	304	4				5		16	2,175
6 産 業	909	578	4		38		5		8	1,542
7 芸 術	1,690	338					8		15	2,051
8 言 語	275	10					1		5	291
9 文 学	3,749	682	55		36		51		146	4,719
計	14,882	4,811	145		160	80	98		260	20,436

## (4) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況（平成30年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	601
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	994
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	4,038

## (5) デジタルアーカイブの状況（平成30年3月31日現在）

- ・ 959件 約5万コマをホームページ上のデジタルアーカイブで公開。
- ・ 電子化が終了した史料は4,373点、閲覧用デジタルデータで約20万コマ。
- ・ 電子化が終了したおもな史料は、佐土原藩嶋津家文書、嶺南文庫など。
- ・ 現在、佐土原藩嶋津家江戸日記と佐土原藩嶋津文庫の電子化を進めている。



## 2 事業実績

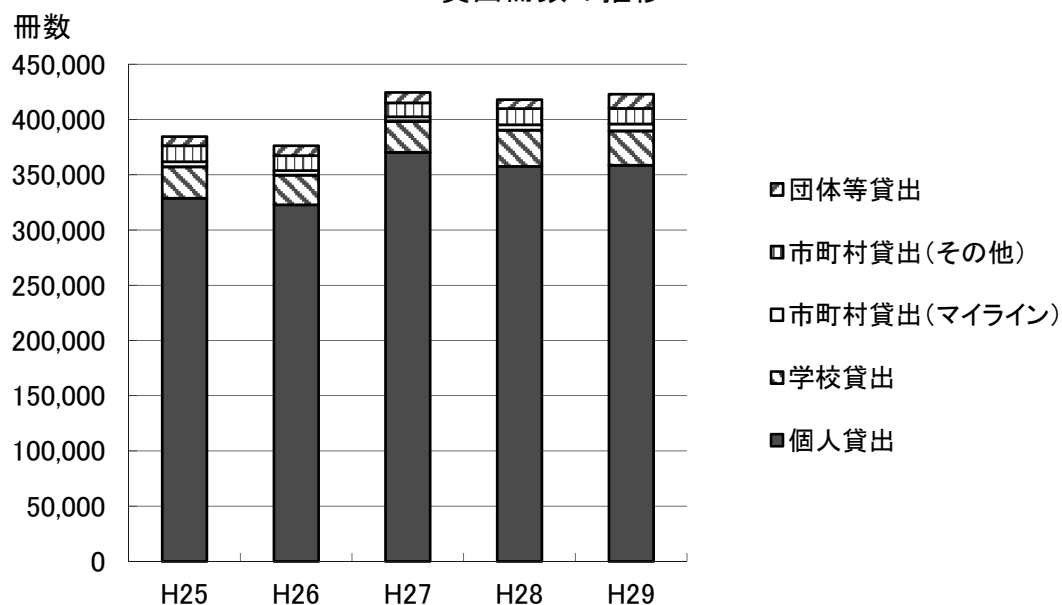
### (1) 利用事業（総括）

#### ① 年度別貸出利用状況の推移

区 分		年 度					
		2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	
開 館 日 数(日)		300	298	302	300	299	
入 館 者 数(人)		515,391	484,701	502,564	468,732	476,569	
( 1 開 館 日 当 たり )		1,718	1,627	1,664	1,562	1,594	
登 録 者 数(人)		7,794	7,400	8,447	8,005	7,052	
累 計 登 録 者 数(人)		240,472	247,872	256,319	264,324	271,376	
( 1 開 館 日 当 たり )		26	25	28	27	24	
貸 出 冊 数(冊)	個 人 貸 出	328,847	322,803	370,359	357,653	358,695	
	( 1 開 館 日 当 たり )	1,096	1,083	1,226	1,192	1,200	
	マ イ ラ イ ン	4,609	4,107	4,294	4,900	6,351	
	巡 回 文 庫	14,533	13,158	11,800	—	—	
	子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト	—	324	810	891	891	
	やまびこ文庫	町 村 支 援 事 業	—	—	—	12,300	11,800
		学 校 支 援 事 業	—	—	—	32,680	30,910
		大 量 貸 出 事 業	—	—	—	1,495	1,413
		児 童 教 育 施 設 事 業	2,959	4,077	4,539	3,714	5,334
	学 校 貸 出	28,384	26,896	27,910	—	—	
	セ ッ ト 文 庫	—	—	—	893	4,363	
	団 体 貸 出	5,102	4,922	4,856	3,533	3,129	
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	104	100	74	43	41	
	合 計	384,538	376,387	424,642	418,102	422,927	

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より事業開始。セット文庫は、平成 28 年度より事業改定。

### 貸出冊数の推移



② 貸出利用地区別内訳（平成 29 年度）

単位（冊）

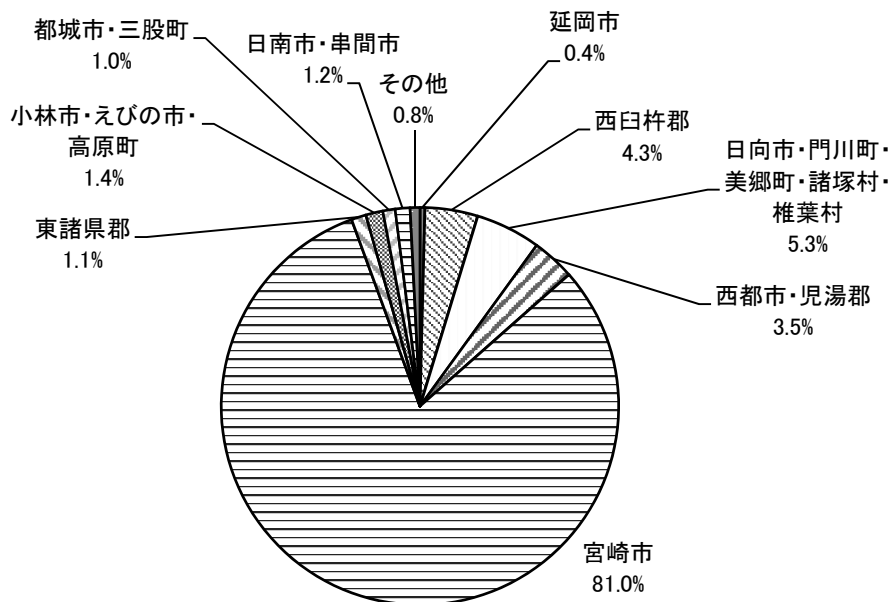
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	1,235	409				1,644
	0.3%	6.4%	-	-	-	0.4%
西 白 杵 郡	108	624	15,750	1,363	162	18,007
	0.1%	9.8%	31.8%	31.2%	4.0%	4.3%
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	1,341	1,719	17,250	1,912	324	22,546
	0.4%	27.1%	34.9%	43.8%	8.1%	5.3%
西都市・児湯郡	9,478	1,118	2,383	801	933	14,713
	2.6%	17.6%	4.8%	18.4%	23.2%	3.5%
宮 崎 市	329,879	728	9,574		2,520	342,701
	92.0%	11.5%	19.4%	-	62.7%	81.0%
東 諸 県 郡	4,667	184				4,851
	1.3%	2.9%	-	-	-	1.1%
小林市・えびの市 ・高原町	2,955	309	2,100	287	81	5,732
	0.8%	4.9%	4.2%	6.6%	2.0%	1.4%
都城市・三股町	3,063	449	900			4,412
	0.9%	7.1%	1.8%	-	-	1.0%
日南市・串間市	2,566	811	1,500			4,877
	0.7%	12.8%	3.0%	-	-	1.2%
そ の 他	3,403					3,403
	0.9%	-	-	-	-	0.8%
合 計	358,695	6,351	49,457	4,363	4,020	422,886

※やまびこ文庫は、平成 28 年度より開始した事業である。

※団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（平成 29 年度）



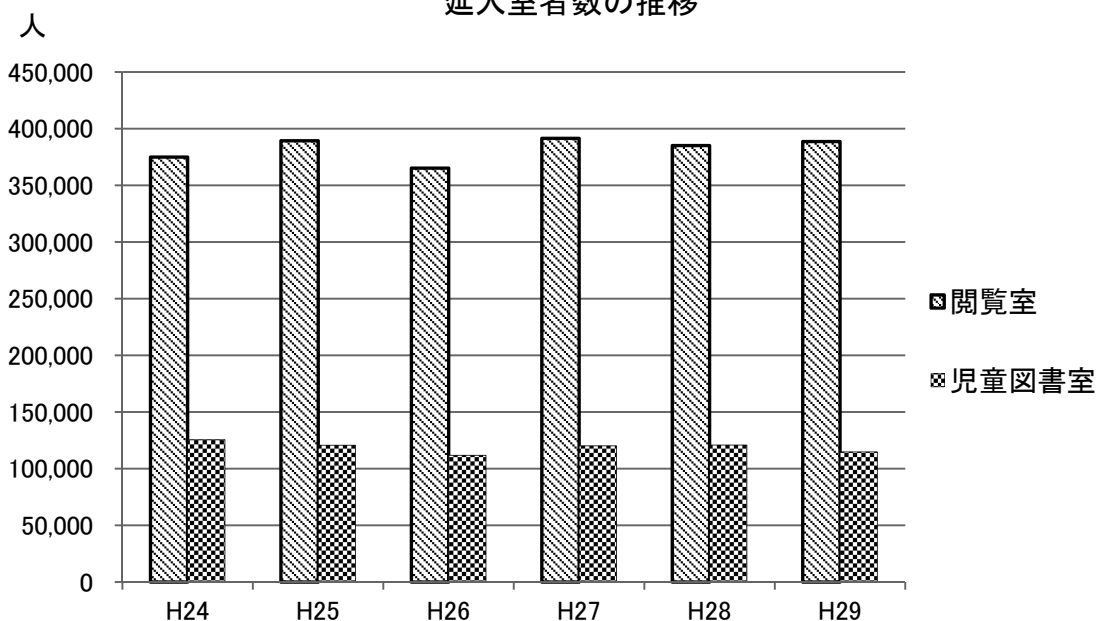
(2) 館内利用事業

① 延入室者数及び貸出冊数の推移

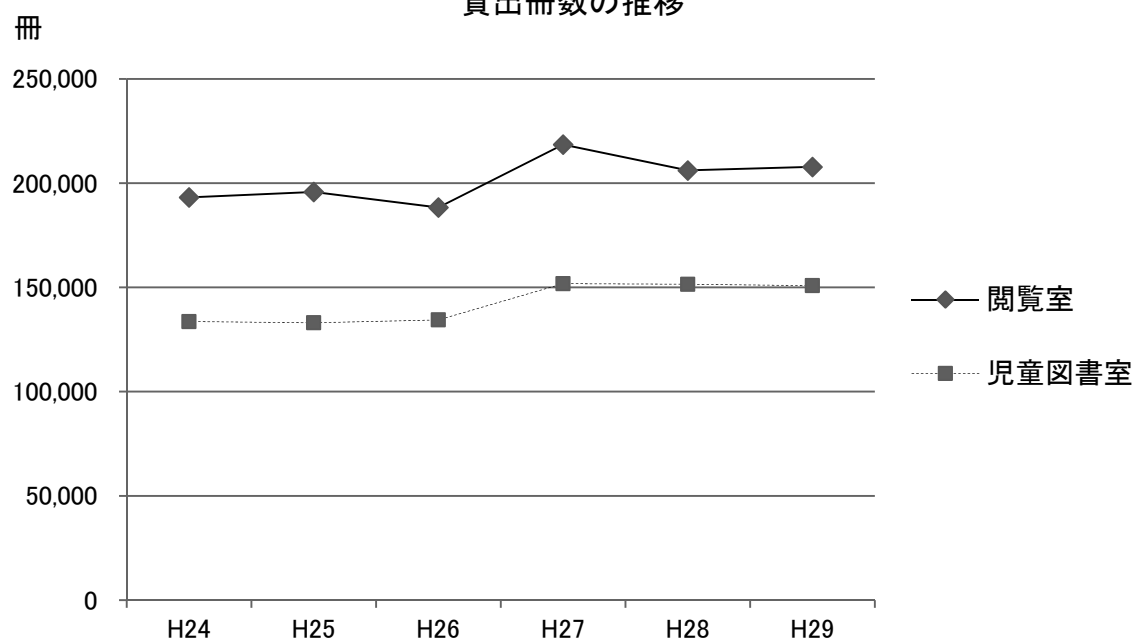
単位 (人・冊)

年度 区分	24		25		26		27		28		29	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	375,083	193,187	389,375	195,794	365,248	188,366	391,591	218,524	385,152	206,135	388,707	207,815
児童図書室	125,536	133,648	120,824	133,053	111,842	134,437	120,206	151,835	120,995	151,518	114,832	150,880
計	500,619	326,835	510,199	328,847	477,090	322,803	511,797	370,359	506,147	357,653	503,539	358,695
1日平均	1,732	1,131	1,701	1,096	1,601	1,083	1,695	1,226	1,687	1,192	1,684	1,200

延入室者数の推移



貸出冊数の推移



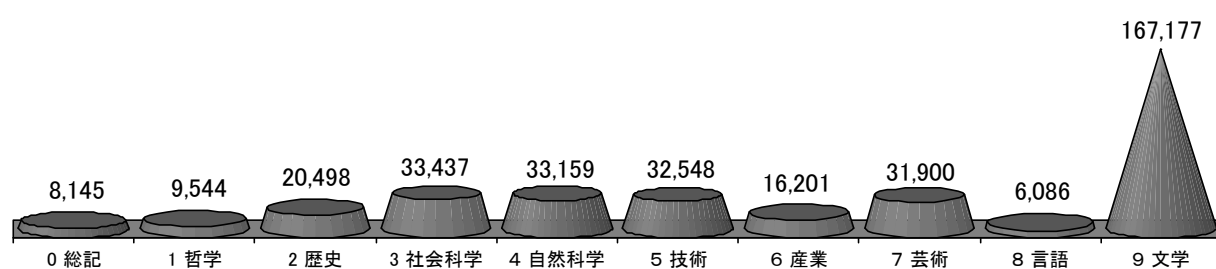
② 入館者数、登録者数、貸出冊数(平成 29. 4. 1～平成 30. 3. 31 開館日数 299 日) 単位(人・冊)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳	715	40,017		2.4	134
	7 歳～12 歳	699	44,761		2.3	150
	13 歳～15 歳	198	4,695		0.7	16
	16 歳～18 歳	256	3,948		0.9	13
	19 歳～22 歳	462	7,335		1.5	25
	23 歳～	4,722	257,939		15.8	863
計	476,569	7,052	358,695	1,594	23.6	1,200
累計 (昭和 63 年度以降)	16,758,427	271,376	11,747,600			

③ 分類別図書貸出冊数(平成 29. 4. 1～平成 30. 3. 31 開館日数 299 日) 単位(冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	6,561	1,584	8,145	27	6 産業	13,728	2,473	16,201	54
1 哲学	8,651	893	9,544	32	7 芸術	20,675	11,225	31,900	107
2 歴史	16,551	3,947	20,498	69	8 言語	4,599	1,487	6,086	20
3 社会科学	27,833	5,604	33,437	112	9 文学	61,877	105,300	167,177	559
4 自然科学	20,955	12,204	33,159	111					
5 技術	26,385	6,163	32,548	109	合計	207,815	150,880	358,695	1,200

分類別図書貸出冊数の内訳(総数 358,695 冊)



④ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位(本)

年度	24	25	26	27	28	29
利用本数	5,191	5,419	5,186	4,586	4,237	4,974
1日平均	18	18	17	15	14	17

⑤ 読書振興室月別利用状況（読書団体の利用数）（平成 29 年度） 単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	7	5	6	7	3	13	12	5	4	2	5	5	74
人数	57	42	44	46	28	103	92	48	27	27	48	38	600

⑥ 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受けて、蔵書資料を紹介したり情報を提供して調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（平成 29 年度） 単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書	計
件数	6,928	2,209	45	324	40	9,546

〈相互貸借件数〉 単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
29	7	669	215	891
28	19	887	204	1,110
27	16	858	219	1,093

⑦ YA（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年わかばコーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約4,800冊）

⑧ みどりの図書コーナー

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、宮崎県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやざきのイメージに合った「みどりに関する資料」を収集している。（展示冊数100冊程度）



## ⑨ 児童サービス

### ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・ 図書館職員による読み聞かせ  
毎週火曜日：午後2時～午後2時30分
- ・ ボランティア団体による読み聞かせ  
毎週水曜日：午後3時～午後3時30分  
毎週土曜日：午後3時～午後4時

〈読み聞かせ利用者数〉（平成29年度） 単位（人）

曜日	内 訳		計	1回当たり
火曜日 (46回実施)	こども	509	961	20.9
	大人	452		
水曜日 (45回実施)	こども	328	613	13.6
	大人	285		
土曜日 (90回実施)	こども	703	1,284	14.2
	大人	581		
計 (181回実施)	こども	1,540	2,858	15.8
	大人	1,318		

※土曜日は1日に2回実施する。

### イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約400冊）

また、毎月第4火曜日に読み聞かせに参加する保護者を対象とした、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のための、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・ 子育て相談おはなし会相談件数（平成29年度） 延べ 217件

## ⑩ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナー（図書約800冊）を設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示しているほか、毎月第一を除く木曜日と第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

また、宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で経営支援、創業支援等の分野に係る連携を円滑にし、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的に平成22年4月1日に覚書を締結しており、四者連携してのセミナー、経営・金融相談会等を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

・ビジネス相談会相談受付件数（平成29年度）

延べ 35件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期 日	セミナー等の名称	参加者数（人）
1	7月13日(木)	食のデザイン塾	83
2	10月18日(水)	株式上場チャレンジセミナー	40
3	10月14日(土)～15日(日)	ひなたマネジメントスクール	47
4	10月19日(木)	中小企業経営セミナー	31
5	11月3日(金)～4日(土)	ひなたマネジメントスクール	延べ 76
6	12月23日(土)～24日(日)	ひなたマネジメントスクール	延べ 69
7	1月13日(土)～14日(日)	ひなたマネジメントスクール	延べ126
8	2月10日(土)～11日(日)	ひなたマネジメントスクール	延べ 75
合 計			延べ547

⑪ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナー（図書約700冊）を設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っている。

また、毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

〈「まちの保健室」の実績〉

・「まちの保健室」相談者数（平成29年度）

延べ 462人

⑫ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席20席の計28席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（平成29年度）

・インターネット専用パソコン

延べ 4,623人

・持込用パソコン席

延べ 6,785人

・データベース席

延べ 550人

※平成26年4月から国立国会図書館デジタルデータベース化資料送信サービスを開始。

⑬ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
件 数	6,697	6,847	6,167	6,310	5,505	5,658
枚 数	48,492	49,342	51,379	47,907	42,846	39,342

⑭ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

ア 法律相談

- 法律相談会（毎月第2金曜日）

※8月を除く、年11回実施。

<月別相談件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	2	4	2	3	—	4	3	1	4	3	0	4	30

- 相続・遺言相談会

平成29年 8月 6日(日) 台風接近のため開催中止

- 成年後見相談会

平成29年 9月18日(月) 相談者数 12名

- 県下一斉司法書士無料法律相談会

平成30年 2月 4日(日) 相談者数120名

イ 不動産相談

- 不動産無料相談会

平成29年 4月15日(土) 相談者数 17名

平成29年10月 7日(土) 相談者数 13名

ウ ランタンのつどい

- 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	9	7	3	3	4	3	4	2	3	3	1	5	47

⑮ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方々への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 利用登録者

平成29年度（新規） 3名

平成29年度末計 35名

- 延べ利用数

平成29年度 549冊

### (3) 館外利用事業

#### ① やまびこ文庫

平成28年度から、移動図書館車「やまびこ」号（平成27年度廃止）に代わる事業として、やまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、BM書庫（市町村配送専用書庫）の資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援、BM書庫で貸出を行う支援を実施している。

#### ア 定期配送による支援

##### 〈町村支援事業〉

平成29年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
日之影町	日之影町民センター図書室	450		美郷町立北郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,150
諸塚村	諸塚村中央公民館	1,200	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
椎葉村	椎葉村民図書室	1,500	西米良村	西米良村立図書館	300
合 計					11,800

##### 〈学校支援事業〉

平成29年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学校名	配本冊数	市町村名	学校名	配本冊数
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	1,500	椎葉村	松尾小学校	900
	三ヶ所小学校	1,500		椎葉中学校	1,200
	坂本小学校	1,200	諸塚村	諸塚小学校	750
	上組小学校	1,500		荒谷小学校	240
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		七ッ山小学校	750
高千穂町	押方小学校	300	西米良村	西米良中学校	450
	田原小学校	750	宮崎市	明星視覚支援学校	320
	岩戸小学校	1,500		みやざき中央支援学校	800
	上野小中学校	900		赤江まつばら支援学校	620
	田原中学校	900		みなみのかぜ支援学校	900
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		清武せいりゅう支援学校	1,200
日之影町	日之影中学校	900		宮崎海洋高等学校	400
美郷町	美郷北学園	900	都城市	都城さくら聴覚支援学校	900
椎葉村	椎葉小学校	630	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
	尾向小学校	900	日向市	日向ひまわり支援学校	1,500
	不土野小学校	600	新富町	児湯るびなす支援学校	900
	小崎小学校	600	小林市	都城きりしま支援学校小林校	600
	大河内小学校	750	合 計		30,910

イ BM書庫での貸出による支援

BM書庫資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

平成29年度 貸出冊数

単位 (冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
美郷町	美郷町立西郷図書館	600	都農町	都農町民図書館	733
	美郷町立南郷図書館	80	合 計		1,413

〈児童教育等支援施設事業〉

平成30年度 児童教育施設等一覧 (平成30年4月1日現在)

No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月	No.	市町村名	団 体 名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	社 会 福 祉 法 人 南 方 保 育 人 園	教育施設	平12. 4	9	宮崎市	宮 崎 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平26. 3
2	宮崎市	宮 崎 県 中 央 福 祉 こ ども セ ン タ ー	教育施設	平21. 6	10	宮崎市	西 池 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12. 6
3	宮崎市	宮崎大学教育文化学部 附 属 幼 稚 園	教育施設	平25.10	11	宮崎市	東 大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平12.10
4	宮崎市	憶 北 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24. 4	12	宮崎市	池 内 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 5
5	宮崎市	瓜 生 野 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平20. 7	13	宮崎市	倉 岡 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
6	宮崎市	大 宮 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平22. 9	14	宮崎市	住 吉 第 二 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29. 6
7	宮崎市	小 松 台 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平24.10	15	宮崎市	生 目 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平29.12
8	宮崎市	住 吉 児 童 ク ラ ブ	教育施設	平25. 7					

② セット文庫

平成28年度より、セット文庫事業を改定し、やまびこ文庫登録図書館・室、やまびこ文庫登録学校、町村立学校への貸出を開始した。

学 校 名	貸出冊数	学 校 名	貸出冊数
門川町立門川小学校	60	日之影町立日之影中学校	44
高千穂町立田原小学校	55	高鍋町立高鍋東中学校	60
高千穂町立押方小学校	293	川南町立唐瀬原中学校	175
椎葉村立椎葉小学校	11	美郷町立美郷北学園	43
門川町立五十鈴小学校	60	県立都農高等学校	80
高原町立後川内小学校	30	県立日向工業高等学校	80
高原町立高原小学校	27	県立日向高等学校	51
門川町立草川小学校	90		
椎葉村立小崎小学校	8	合 計	1,555
諸塚村立荒谷小学校	20		
日之影町立高巣野小学校	141		
五ヶ瀬町立上組小学校	16		
都農町都農小学校	211		

※やまびこ文庫登録図書館・室への貸出数は2,808冊



### ③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

#### 〈平成29年度貸出状況〉

町村名	図書館・図書室名	回数	セット数（貸出冊数）
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	3	3（81）
高千穂町	高千穂町立図書館	3	3（81）
高原町	高原町中央公民館図書室	3	3（81）
川南町	川南町立図書館	3	3（81）
高鍋町	町立高鍋図書館	3	3（81）
都農町	都農町民図書館	3	3（81）
美郷町	美郷町立西郷図書館	3	3（81）
	美郷町立北郷図書館	3	3（81）
	美郷町立南郷図書館	3	3（81）
木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	3	3（81）
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	3	3（81）
	合 計	33回	33セット（891冊）

### ④ 団体文庫

平成30年度 団体文庫登録団体一覧（平成30年4月1日現在）

No.	市町村	団体名	登録種別	登録年月	No.	市町村	団体名	登録種別	登録年月
1	宮崎市	あじさい読書会	研究団体 【小説】 読み聞かせ ボランティア	昭54. 7	12	宮崎市	(公財)野村生涯教育センター	研修団体	平10. 8
2	宮崎市	いずみ一座	読み聞かせ ボランティア	平25. 8	12	宮崎市	ピーターラビットおはなしクラブ	読み聞かせ ボランティア	平18. 11
3	宮崎市	えほんといっしょ	読み聞かせ ボランティア	平15. 1	14	宮崎市	びろうじゅ	研究団体 【短歌】	平元. 11
4	宮崎市	大宮小読み聞かせサークルひまわり	読み聞かせ ボランティア	平23. 4	15	宮崎市	MAR I	読み聞かせ ボランティア	平26. 10
5	高鍋町	おはなしころりん	読み聞かせ ボランティア	平15. 7	16	宮崎市	みなみかぜ	読み聞かせ ボランティア	平12. 4
6	宮崎市	おはなし つたや	読み聞かせ ボランティア	平26. 4	17	宮崎市	宮崎至慶幼稚園絵本の会	読み聞かせ ボランティア	平17. 10
7	宮崎市	くれよん	読み聞かせ ボランティア	平19. 6	18	宮崎市	ラボ・ミヤザキ	研究団体 【絵本】 読み聞かせ ボランティア 研修団体	平26. 4
8	宮崎市	シルバーケア短歌会「空の会」	研究団体 【短歌】	平26. 1	19	宮崎市	宮崎県現代川柳協会	研究団体 【川柳】	平28. 4
9	宮崎市	サンシャインフレンズ	読み聞かせ ボランティア	平 4. 11	20	宮崎市	宮崎レコード音楽愛好会	研究団体 【レコード】	平29. 6
10	宮崎市	ツバナ文庫	私設文庫 読み聞かせ ボランティア	平 2. 4	21	宮崎市	みつばちキッズ浮城	読み聞かせ ボランティア	平29. 7
11	宮崎市	西池小学校支援ボランティア「お話し部屋」	読み聞かせ ボランティア	平13. 10	22	宮崎市	あおぞら幼稚園読み聞かせサークルぶんぶん	読み聞かせ ボランティア	平29. 10

## (4) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村等への貸出実績の推移

単位(冊)

	施設名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	203	75	64	57	55
3	都城市立図書館	158	104	111	134	77
4	都城市立高城図書館	18	18	10	18	21
5	延岡市立図書館	353	344	297	360	350
6	延岡市立図書館北方分館	38	70	58	52	45
7	延岡市立図書館北浦分館					
8	延岡市立図書館北川分館				17	14
9	日南市立図書館	458	603	518	704	682
10	小林市立図書館	216	160	160	176	182
11	日向市立図書館	304	294	454	425	348
12	串間市立図書館	147	114	137	119	92
13	西都市立図書館	66	73	48	250	158
14	えびの市民図書館	82	59	70	61	43
15	三股町立図書館	187	289	204	231	236
16	国富町立図書館	2	7		6	25
17	綾てるは図書館	187	154	111	144	159
18	町立高鍋図書館	132	208	227	168	176
19	新富町図書館	203	197	194	101	86
20	川南町立図書館	79	89	110	113	114
21	都農町民図書館	203	169	164	325	229
22	門川町立図書館	70	64	51	88	87
23	美郷町立西郷図書館	192	234	298	233	248
24	美郷町立北郷図書館	176	64	102	154	153
25	美郷町立南郷図書館	144	111	120	82	109
26	高千穂町立図書館	161	204	181	259	200
27	宮崎市清武文化会館図書室	83	61	69		
28	宮崎市田野公民館図書室		7	5	16	46
29	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室		6	70	43	89
30	都城市山之口地区公民館図書室					
31	都城市山田総合センター図書室	1			16	94
32	都城市高崎たちばな学び館図書室	3	40	13	14	21
33	高原町中央公民館図書室	355	112	179	160	84
34	西米良村立図書室	53	12	27	12	16
35	木城町総合交流センターリパリス図書室	282	156	212	181	339
36	諸塚村中央公民館図書室	43	3	12	44	11
37	椎葉村民図書室				18	21
38	日之影町民センター図書室				1	
39	五ヶ瀬町教育委員会図書室	10	6	18	83	118
40	県立五ヶ瀬中等教育学校				35	306
41	県立日向高等学校					446
42	県立富島高等学校					296
43	県立宮崎南高等学校					157
44	県立佐土原高等学校					310
45	県立宮崎商業高等学校					71
46	県立日南振徳高等学校					37
	合計	4,609	4,107	4,294	4,900	6,351

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、日南市立図書館(本館)にて一括計上。

※小林市立野尻分館・須木分館は、小林市立図書館(本館)にて一括計上。

(5) 訪問支援

平成28年度から、市町村図書館ややまびこ文庫登録県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。

〈平成29年度定期訪問状況〉

全市町村立図書館・室を対象とし、定期訪問を実施した。訪問の回数は、やまびこ文庫登録図書館・室（10館・室）が各3回、やまびこ文庫未登録図書館・室（35館・室）が各1回の合計65回であった。

〈平成29年度要請訪問状況〉

期 日	訪問施設名	要請内容
5月24日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
6月12日	美郷町立西郷図書館	ブックスタートについて
6月22日	高千穂町立図書館	西臼杵郡学校図書部会での助言等
9月13日	日南くろしお支援学校	読書活動支援
1月17日	日南くろしお支援学校	読書活動支援

(6) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出し及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出月別利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4月	0	0	0	3	5	300
5月	5	7	250	4	4	206
6月	0	0	0	6	6	195
7月	0	0	0	6	6	459
8月	9	10	109	5	7	154
9月	4	4	536	4	4	204
10月	10	5	660	5	12	481
11月	1	1	903	5	5	162
12月	1	5	42	7	7	312
1月	0	0	0	0	0	0
2月	4	4	4	2	2	82
3月	7	7	216	14	14	869
合計	41	43	2,720	61	72	3,424

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者 (人)
1	5月5日(金)	「バンビ」	16
2	6月25日(日)	「めいたんていラスカル」「チルビー11」	15
3	7月25日(火)	「サミーとシェリー2 僕らの脱出大作戦」	98
4	8月12日(土)	「対馬丸」	9
5	8月29日(火)	「金のおの」「ライオンとネズミ」「きいちゃんとどろんこピッピ」	29
6	9月24日(日)	手塚治虫アニメワールド「雨ふり小僧」「山太郎かえる」	11
7	10月28日(土)	「チルビー12」「うっかりペネロペ」「かわいいミッフィー」	35
8	11月26日(日)	「よっちゃんの不思議なクレヨン」「ジャッキーのお誕生日」	34
9	12月26日(火)	「イソップ物語」「チルビー13」	35
10	1月27日(土)	「赤毛のアン」	22
合 計			304

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者 (人)
1	4月18日(火)	「ネコナデ」	57
2	5月5日(金)	「夏時間の庭」	62
3	6月25日(日)	「自転車泥棒」	71
4	7月25日(火)	「六月燈の三姉妹」	85
5	8月12日(土)	「紙谷悦子の青春」	52
6	8月29日(火)	「市民ケーン」	60
7	9月24日(日)	「人生、いろどり」	62
8	10月28日(土)	「ラストミッション ハッブル宇宙望遠鏡を救え」 「ハッブル宇宙望遠鏡 時空を超えた宇宙の絶景」	17
9	11月26日(日)	「おじいちゃんの里帰り」	58
10	12月12日(火)	「クリスマスに雪はふるの？」	48
11	12月26日(火)	「坂本龍馬の生涯」	54
12	1月27日(土)	「明日へのチケット」	50
13	2月27日(火)	「冬構え」	75
合 計			751

### 〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者 (人)
1	5月3日(水)	宮崎北高等学校吹奏楽部による演奏 「みやざきの言の葉」語り部による神話の語り	約120
2	8月27日(日)	夏のレコードコンサート 「図書館コレクション 名曲の数々vol. 7」	66
3	10月29日(日)	宮崎南高等学校音楽部による合唱 (みどりの図書館フェスタのステージイベント)	—
4	12月17日(日)	冬のレコードコンサート 「図書館コレクション vol. 8 20世紀・三大指揮者 より ウィルヘルム・フルトヴェングラーを聴く」	69
5	3月11日(日)	春のレコードコンサート 「図書館コレクション 名曲の数々vol. 9」	70
合 計			約325

※第3回は台風接近のため開催中止。

### 〈緑陰ビデオセミナー〉

子どものための自然環境に関する講座を通して自然についての理解を深めるとともに、生涯学習への関心・意欲を高めるため、講座を実施した。

回	期 日	内 容	参加者 (人)
1	6月15日(木)	DVD上映 「センスオブワンダー レイチェルカーソンの贈り物」	32
合 計			32



(7) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

節	期 日	場 所	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
1	4月4日(火)～ 4月16日(日)	ギャラリー	NHK宮崎放送局	NHK大河ドラマ「おんな城主・直虎」全国巡回展	○
		ロビー	家畜防疫対策課	家畜伝染病「特別防疫月間」企画展	
2	4月18日(火)～ 5月7日(日)	ギャラリー	県立図書館	こどもの読書週間企画展	◎
		ロビー	オールみやざき営業課	なるほど！ザ・青年海外協力隊&シニア海外ボランティア	
3	5月9日(火)～ 5月21日(日)	ギャラリー	NOSA I	「宮崎の農村」写真展	○
		ロビー	消費生活センター	消費生活問題啓発パネル展	
4	5月23日(火)～ 6月4日(日)	ロビー	県立図書館	平成29年度県立図書館事業案内	◎
		ギャラリー	環境森林課	みどりの特別企画展	
5	6月6日(火)～ 6月18日(日)	ロビー	畜産振興課	「牛乳の日」企画展	
		ロビー	健康増進課	「6月4日は、むし歯予防の日」	
6	6月20日(火)～ 7月2日(日)	ロビー	生活・協働・男女参画課	「県民との協働」パネル展	
		ロビー	砂防課	平成29年度「土砂災害防止月間」パネル展	
7	7月4日(火)～ 7月17日(月)	ロビー	港湾課	「みやざきの港」特別企画展	
		ロビー	生活・協働・男女参画課	「男女共同参画週間」パネル展	
8	7月19日(水)～ 7月30日(日)	ロビー	総合政策課	地産地消を進めよう！ディスカバー宮崎（宮崎再発見）パネル展	
		ロビー	法人指導・援護室	みんなで知ろう！福祉のしごと	
9	8月1日(火)～ 8月13日(日)	ロビー	河川課	「河川・海岸愛護月間」企画展	
		ロビー	情報政策課	マイナンバー制度について	
10	8月15日(火)～ 8月27日(日)	ロビー	健康増進課	ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展	
		ロビー	環境管理課	土呂久公害について	
11	8月29日(火)～ 9月10日(日)	ロビー	道路保全課	平成29年度道路防災週間に伴う写真パネル展示	
		ロビー	林業技術センター	森林・林業にふれてみませんか！	
11	8月29日(火)～ 9月10日(日)	ロビー	宮崎県ユニセフ協会	もったいないばあさんのワールドレポート展	○
		ロビー	企業局	来て見て知って 宮崎県企業局のおしごと	
11	8月29日(火)～ 9月10日(日)	ロビー	健康増進課	「目指せ！健康長寿 日本一」パネル展	
		ロビー	医療・介護連携推進室	「健康長寿日本一」推進企画展（介護予防・認知症編）	
		ロビー	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり月間展	
		ロビー	環境管理課	水辺環境調査パネル展	

節	期 日	場 所	課・機関名	内 容	◎主催 ○共催
12	9月12日(火)～ 9月24日(日)	ギャラリー	県警本部生活安全企画課	全国地域安全運動ポスター展	
			生活・協働・男女参画課	安全で安心なまちづくりの普及啓発のためのパネル展	
		ロビー	福祉保健課	自殺予防週間 自殺予防啓発パネル展	
13	9月26日(火)～ 10月9日(月)	ギャラリー	農政企画課新農業戦略室	世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域	
			中山間・地域政策課	霧島ジオパーク展	
			中山間・地域政策課	祖母・傾・大崩山系をユネスコエコパークに！	
		ロビー	中山間・地域政策課	中山間地域をみんなで支える県民運動	
14	10月11日(水)～ 10月22日(日)	ギャラリー	生涯学習課	県民総ぐるみによる教育の推進	
			環境管理課	浄化槽適正管理啓発パネル展	
			環境森林課・みやざきの森林づくり推進室	「森林づくり推進期間」「エナコロジーマンス」共同展	
		ロビー	精神保健福祉センター	第65回精神保健福祉普及運動～思春期こころの健康～	○
15	10月24日(火)～ 11月5日(日)	ギャラリー	県立図書館	秋の読書週間企画展	◎
		ロビー			
16	11月7日(火)～ 11月19日(日)	ギャラリー	スポーツ振興課	1130ライフスポーツ推進事業	
			こども家庭課	「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール	
		ロビー	都市計画課	「美しい宮崎づくり」パネル展	
17	11月21日(火)～ 12月3日(日)	ギャラリー	生活・協働・男女参画課	「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展	
			生活・協働・男女参画課	交通安全啓発パネル展	
			宮崎県租税教育推進中央協議会	「税を考える週間」特別企画	○
			宮崎県老人クラブ連合会	文化伝承体験コーナー	○
		ロビー	県警本部犯罪被害者支援室	犯罪被害者支援に関する企画展	
18	12月5日(火)～ 12月17日(日)	ギャラリー	人権同和対策課	人権に関する作品展	
			環境森林課	地球温暖化防止月間展	
		ロビー	オールみやざき営業課	北朝鮮当局による人権侵害問題啓発パネル展	
19	12月19日(火)～ 1月8日(月)	ギャラリー	記紀編さん記念事業推進室	宮崎の神話・神楽展	
		ロビー	県立図書館	やまびこ文庫紹介パネル展	◎
20	1月10日(水)～ 1月21日(日)	ギャラリー	総合政策課	「みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト」企画展	
			障がい福祉課	人にやさしい福祉のまちづくり展	
		ロビー	スポーツ振興課	児童生徒が自分で作る「みやざき弁当の日」	
21	1月23日(火)～ 2月4日(日)	ギャラリー	環境森林課	省エネルギー月間展	
			商工政策課	平成29年度宮崎県中小企業大賞表彰の受賞企業について	
		ロビー	県立図書館	絵本自由読書コーナー	◎
22	2月6日(火)～ 2月18日(日)	ギャラリー	県警本部生活環境課	サイバー犯罪被害防止パネル展	
		ロビー	宮崎県法人連合会	税に関する絵はがきコンクール	○
23	2月27日(火)～ 3月11日(日)	ギャラリー	危機管理課	防災企画展	
		ロビー	福祉保健課	自殺対策強化月間 自殺予防啓発パネル展	
24	3月13日(火)～ 3月25日(日)	ギャラリー	文化文教課	みやざきの「ひと」	
			生活・協働・男女参画課	交通安全ポスターコンクール作品展	
		ロビー	循環社会推進課	みやざき食べきり宣言プロジェクト	
合計 68事業					

② 県内公共図書館における巡回展

	場 所	時 期	機 関	内 容
1	宮崎市立佐土原図書館	8月	統計調査課	統計グラフコンクール作品展
		10月	男女・協働・参画課	男女・協働・参画
		2月	商工政策課	宮崎中小企業大賞表彰の受賞企業について
2	都城市立図書館	5月	統計調査課	統計グラフコンクール作品展
		7月	県警本部 犯罪被害者支援室	犯罪被害者支援
		9月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
3	延岡市立図書館	8月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり月間企画展
		12月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
4	日南市まなびピア図書館	9月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり月間企画展
5	串間市立図書館	9月	砂防課	土砂災害防止啓発パネル展
6	西都市立図書館	7月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
7	えびの市民図書館	5～6月	長寿介護課	シニアパワー宮崎づくり月間企画展
8	三股町立図書館	5月	畜産新生推進局	口蹄疫を忘れない
		8月	砂防課	土砂災害防止啓発パネル展
		9月	県警本部 犯罪被害者支援室	犯罪被害者支援
		1月	統計調査課	統計グラフコンクール作品展
9	綾てるは図書館	5月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		8月	医療・介護連携推進室	「健康長寿日本一」推進企画展
10	川南町立図書館	10月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
11	都農町民図書館	5月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
		6月	統計調査課	統計グラフコンクール作品展
		8月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		11月	生活・協働・参画課	「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展
12	美郷町立西郷図書館	5月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		2月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
13	きよたけ 児童文化センター	5月	畜産新生推進局	口蹄疫を忘れない
		6月	砂防課	土砂災害防止啓発パネル展
		10月	男女・協働・参画課	男女・協働・参画
		12月	スポーツ振興課	みやざき弁当の日
		2月	循環社会推進課	「みやざき食べきり宣言プロジェクト」パネル展
				合計 13館(室)、30事業

## (8) 文化活動事業

### ① 第59回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を実施した。

期 間 平成29年4月18日(火)～5月7日(日)

内 容

ア 「自然とあそぼう！ネイチャーゲーム～自然の本とこどもをつなぐ～」

講 師：猪崎 悦子氏（たちばな宮崎シェアリングネイチャー運営委員長）

イ ワークショップ「おもしろ工作でおはなし～びっくり箱とふしぎなおうち～」

講 師：児童図書室担当職員

内 容：紙や牛乳パックを使った簡単なしかけ絵本づくり

ウ 企画展示1「しぜんのほん」

内 容：自然の本と自然を用いた遊びについての本の紹介、展示

企画展示2「こどもしつしょうかいコーナー」

内 容：えほん年間貸出数ベスト10、ボランティア紹介、外国絵本の展示など

エ おはなし会

ボランティア団体、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせ

オ こども映写会（アニメ映画「バンビ」）

### ② 第71回「秋の読書週間」関連事業 平成29年度「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上・発展のため、昭和22年に（社）読書推進運動協議会によって第1回「読書週間」が開催された。以後、毎年「文化の日」を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間が「秋の読書週間」となり、日本の国民的行事として定着している。

県立図書館においても、イベントを通じて読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図ることを目的に、関連事業として「みどりの図書館フェスタ」を開催しているが、平成29年度は台風接近による天候不良のため開催中止となった。

開催予定期日 平成29年10月29日(日)

プログラム（予定）

ア 開会行事・優良読書団体表彰

イ 緑陰コンサート

ウ みんなで楽しむ郷土の偉人

エ 人形劇アニメシアター

オ 短歌を楽しもう～公開歌合わせ～

カ 読み聞かせ「スペシャルおはなし会」

キ オリジナルしおりづくり

ク 大型絵本の読み聞かせ（学生ボランティア）

### ③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。  
平成29年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。  
また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

#### <特別展>

「日本の歴史拝見Ⅰ」

期 間 平成29年7月11日(火)～8月20日(日) 開催日数：36日  
内 容 邪馬台国や元寇、織田信長の死など日本史において謎とされている部分に焦点をあてて、様々な説を紹介した。また、それに合わせて当館が所蔵する関連資料も展示した。

「江戸に学ぶ～古文書に見る武士の学び～」

期 間 平成29年9月26日(火)～11月5日(日) 開催日数：36日  
内 容 江戸時代の武士の学びを郷土の偉人安井息軒や日高文書の測量関係の資料で紹介した。また、伊能忠敬の宮崎周辺の測量図(レプリカ)を展示して、江戸時代の測量方法などを紹介した。

#### <企画展>

「ぶらぶら日向路Ⅱ」

期 間 平成29年4月21日(金)～5月28日(日) 開催日数：33日  
内 容 大正から昭和初期の画像資料や観光ガイドブック、絵はがき等を展示して当時の観光地や旅行について紹介した。また、観光宮崎の基礎を築いた岩切章太郎についても紹介した。

「城」

期 間 平成30年1月23日(火)～2月12日(月) 開催日数：19日  
内 容 宮崎県内に点在する城跡や城を巡る物語を通して宮崎の戦国時代について紹介した。また、幕末の大阪城や二条城についても紹介した。

#### <巡回展>

「山伏が歩いた日向路」

会場・期間 日向市立図書館 (6/13(火)～7/2(日))  
えびの市歴史民俗資料館 (9/12(火)～10/1(日))  
日南市小村記念館 (12/1(金)～12/10(日))  
宮崎市佐土原図書館 (12/20(水)～1/15(月))

内 容 平成28年度に実施した特別展「山伏が歩いた日向路」を再構成し、県4会場で市町村教育委員会と各施設との共催で実施した。

#### <共催展>

「遺跡発掘速報展2017」

期 間 平成29年8月26日(土)～9月18日(月)  
内 容 宮崎県埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を実施し、近年報告書を刊行または整理作業を行った遺跡に関する展示を実施した。  
9月3日(日)には、「遺跡発掘速報会 一発掘調査最前線2017―」と題した調査結果の速報会も開催した。

#### ④ 郷土史料等学習活動

##### 〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の視聴覚室において次のとおり実施した。

受講者計 155名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	6月24日(土)	島津家久・豊久父子と日向国	宮崎市教育委員会 新名 一仁 氏	94名
2	7月22日(土)	もう一人の牧水 小野葉桜	元延岡市立図書館長 九鬼 勉 氏	28名
3	8月26日(土)	大島畠田遺跡から島津荘へ	都城市教育委員会 栗山 葉子 氏	33名

##### 〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史についても理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する近世史料をテキストとして利用した年6回にわたる古文書解説を実施した。

受講者計 204名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6月17日(土)	講座① 「古文書に親しむ」 (全2回)	郷土情報担当 崎田 一郎	44名
2	7月29日(土)			34名
3	8月5日(土)	講座② 「佐土原藩嶋津家日記を読む」 (全4回)	筆耕解説員 中元 暢一 氏 柘植 幹雄 氏	36名
4	9月16日(土)			26名
5	10月12日(木)			30名
6	11月9日(木)			34名

⑤ 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業

宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化に関心を持ってもらい、県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進し、記紀編さん1300年の展開を図った。

<講演会>

記紀、宮崎の神話・伝承等に関する著名な研究者を招聘し講演会を開催した。

期 日	演 題	講 師	会 場	参加者
6月10日(土)	日本書紀に見る児湯郡の物語 —新富町—	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	新富町総合 交流センター 「きらり」	24名
6月24日(土)	海幸山幸神話の魅力 —串間市—	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	串間市 アクティブ センター	43名

<語り部養成講座>

シニア世代や読書活動ボランティア等を対象に、神話・伝承や民話の知識と語りの技法を学ぶための講座を開催した。

ア 新富会場（新富町総合交流センター「きらり」）

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月8日(土)	講義 「新富町の神社にまつられた神々の物語」	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	延べ 81名
		講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その1」	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 岡田 勝運 氏	
2	8月5日(土)	講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その2」	郷土先覚者顕彰ガイド 宇都 裕子 氏	
3	9月2日(土)	講義 「宮崎県民話の独自性をさぐる」	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	
		講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その1」	ととろ三人の会 代表 田部 外美 氏	
4	10月7日(土)	講義・演習 「語りの楽しさをひとつ その2」		

イ 串間会場（串間市アクティブセンター）

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月15日(土)	講義 「串間市の神社にまつられた神々の物語」	宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏	延べ 77名
		講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その1」	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 岡田 勝運 氏	
2	8月19日(土)	講義・演習 「宮崎の神話・伝承の語りに挑戦 その2」	郷土先覚者顕彰ガイド 宇都 裕子 氏	
3	9月9日(土)	講義 「宮崎県民話の独自性をさぐる」	元南九州大学教授 矢口 裕康 氏	
		講義・演習 「語り部活動への挑戦」	都城おかしむじ会 代表 竹原 由紀子氏	
4	10月14日(土)	講義・演習 「人の心をうつす語り部活動への挑戦」		



<巡回展>

記紀、宮崎の神話・伝承等に関するパネルを県内公共図書館等にて巡回展示した。

ア 新富会場

期 日	展示日数	会 場
6月1日(木)～ 6月30日(金)	30日	新富町総合交流センター「きらり」ギャラリースペース

イ 串間会場

期 日	展示日数	会 場
7月11日(火)～ 7月31日(月)	21日	串間市立図書館

<みやざき語り部のつどい>

県内の語り部の資質向上や県民に対して宮崎の言語文化を継承しようとする気運醸成を図るための発表会等を実施した。

日 程	内 容	
12月9日(土) 午前の部	全体会	内容 過去の受講者の語りの発表(神話・民話各1名)及び パネルディスカッション 宮崎市神話観光ガイドボランティア協議会 岡田 勝運 氏 郷土先覚者顕彰ガイド 宇都 裕子 氏 ととろ三人の会 代表 田部 外美 氏 【語り部】2名(過去の講座修了者) 【パネルディスカッション・コーディネーター】 宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏
午後の部	講演会	講師 埼玉大学 教授 飯泉 健司 氏 演題 『神に人の心を ～日向神話の役割～』

<語り部派遣>

過年度「語り部養成講座」受講者の中から語り部として図書館行事への派遣を実施した。

期 日	派 遣 先	派 遣 内 容	参加者
5月3日(水)	県立図書館	神話の語り部として1名	約120名
9月23日(土)	県総合博物館民家園	民話の語り部として1名	約10名
9月29日(金)	門川町立図書館	高校の授業への外部講師として1名	30名
12月9日(土)	県立図書館	語り・意見発表者として2名	126名
1月27日(土)	川南町立図書館	神話の語り部として1名	13名
3月24日(土)	県総合博物館民家園	民話の語り部として1名	約10名

## (9) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタルアーカイブの推進を図る。

### ① 『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

平成29年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）』を刊行した。（120部印刷）

### ② 『宮崎県文化講座研究紀要』

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

平成29年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第44輯』を刊行した。（120部印刷）

### ③ デジタルアーカイブ事業

959点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。平成26年度のシステム更新により、登録可能データ数が増えたことから追加登録の作業を進めている。

平成29年度は「佐土原藩嶋津家文庫」と「佐土原藩嶋津家江戸日記」の電子化事業を実施している。

## (10) ホームページ等活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む21館が参加）
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを経由した資料貸出予約申し込み

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成28年度からフェイスブックページを開設し、随時更新している。

### 〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年度	23	24	25	26※	27	28	29
件数	128,534	102,916	135,346	119,867	148,444	157,479	637,440

※平成26年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成27年2月中旬から平成27年3月中旬の間は件数に反映されていない。

### 〈フェイスブックページアクセス件数〉 単位（件）

年度	28	29
件数	63,429	56,632

### (11) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。施設見学には、幼稚園・保育園・小中学校が社会見学として来館するのに加え、県総合文化公園一帯に所在する県の文化施設を巡る4館見学ツアー（県立美術館、県立芸術劇場、県総合博物館、県立図書館）も実施している。（平成24年度から「3館見学ツアー」として事業開始。その後平成28年度から県立芸術劇場も加わり「4館見学ツアー」となった。）

また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、職場体験学習や司書実習、インターンシップなども積極的に受け入れている。

#### 〈図書館体験学習〉（施設見学を含む。）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延べ人数	備 考
幼稚園・保育所	6	193	
小 学 校	21	919	
中 学 校	8	131	職場体験学習 5校 13名
高 等 学 校	0	0	
特別支援学校	0	0	
大 学	3	6	司書実習 1校 3名 インターンシップ 2校 3名
そ の 他	5	88	県教育研修センター業務研修 5名
合 計	43	1,337	

### (12) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書が寄贈申出があり、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生」コーナーを設けた。

なお、最初の寄贈から5年を迎えたことから、院長と御遺族への感謝の意を込めて平成29年12月12日(火)に「かば先生文庫寄贈5周年記念おはなし会」を実施した。

#### 〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年 2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年 4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー

#### 〈かば先生文庫整備数〉（平成30年3月31日現在）

1,497冊 内訳 児童図書室 604冊  
B M 書 庫 893冊

(13) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催または県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」

主催：県立図書館

県民の誰もが生涯にわたって読書に親しむ「日本一の読書県」づくりの関連事業として、県内の高校生を対象に心の糧となった「おすすめるの一冊」を募集した。その結果、25校・565名の高校生から応募が寄せられ、選考の結果、入選者10名を決定した。

このうち4名を平成29年12月に開催したトークセッションに招き、それぞれの「おすすめるの一冊」についての発表に加えて、歌人の伊藤一彦名誉館長及び俵万智氏との対談を行った。

(会場：研修ホール)

<応募状況>

	県立高校・中等教育学校	私立高校	特別支援学校	合計
学校数	18校	5校	2校	25校
応募者数	502名	61名	2名	565名

<トークセッション>

期 日	内 容	参加者
12月3日 (日)	・名誉館長による講話「私と本の出会い」 ・4名の高校生によるそれぞれの「おすすめるの一冊」についての発表 ・発表者と名誉館長及び俵万智氏との対談（発表内容をさらに深め、会場全体で分かち合うもの。）	50名

② 若山牧水没後90年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう」

主催：宮崎大学附属図書館、牧水研究会、県立図書館

後援：若山牧水記念文学館

本県が生んだ国民的歌人である若山牧水の没後90年にちなみ、宮崎大学との連携事業として、若山牧水をテーマとする対談及び討論を開催した。また、宮崎大学の学生による読書活動の実演・提案を行った。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容		参加者
2月18日 (日)	第1部	「若者たちと牧水を語ろう」 ・対談「世界一有名な歌－牧水歌の時代を超えた魅力」 （宮崎大学 中村佳文教授・伊藤一彦名誉館長） ・「若者たちと語る牧水」討論会 （中村教授・伊藤名誉館長・宮崎大学の学生4名）	58名
	第2部	読書県を目指すための読書活動（宮崎大学の学生による次のテーマによる読書活動の実演・提案） ・「ごんぎつね」を楽しく読むために ・対話的「読み聞き語り」の実践 ・詩歌の群読表現活動	

### ③ 名誉館長文化講演会

主催：県立図書館

郷土の生んだ国民的歌人若山牧水が創刊に関わった短歌雑誌『創作』878冊が寄贈されたことを記念して、同じ郷土の歌人で牧水研究の第一人者でもある伊藤一彦名誉館長による文化講演会を開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容	参加者
10月7日 (土)	・名誉館長による講話「若山牧水と『創作』」 ・寄贈された『創作』878冊の展示	100名

### ④ 「神話のふるさと県民大学」

主催：宮崎県立看護大学、宮崎大学、宮崎産業経営大学法学部

記紀、神話等をテーマとした、県内外の講師による対談、講演等。県内3大学が主催する「リレー講座」全9回のうち、宮崎県立看護大学主催分5回及び宮崎大学主催分1回を当館で開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	演 題	講 師	参加者
8月19日 (土)	鼎談 「愚者の教え」	上野 誠 氏 (奈良大学教授) 大館 真晴 氏 (宮崎県立看護大学教授) 横山 美和 氏 (フリーアナウンサー)	137名
9月2日 (土)	鼎談 「古代にみる日向」	神田 典城 氏 (学習院女子大学学長) 橋本 雅之 氏 (皇學館大学教授) 大館 真晴 氏 (宮崎県立看護大学教授)	133名
9月9日 (土)	鼎談 「ひむか女子旅の魅力！ ～日向神話をめぐる旅～」	平藤喜久子氏 (國學院大學教授) 上大岡トメ氏 (イラストレーター) 加藤 沙知 氏 (MRT宮崎放送アナウンサー)	117名
9月23日 (土)	鼎談 「年齢の花～それぞれの 年代の歌～」	小島ゆかり氏 (歌人) 小島 なお 氏 (歌人) 伊藤 一彦 氏 (歌人、当館名誉館長)	125名
9月30日 (土)	講演 「日向神話の魅力を探る」	毛利 正守 氏 (皇學館大学教授)	108名
11月18日 (土)	講演 「現代における神話の受容 ～日本アニメを切り口に～」	山田 利博 氏 (宮崎大学教授)	114名

※11月18日(土)は宮崎大学主催、そのほかは宮崎県立看護大学主催。

なお、参加者数は宮崎県記紀編さん記念事業推進室調べ。

⑤ 「わくわく文芸講座」

主催：県宮崎県教職員互助会

教職員等だけでなく、広く一般県民も対象とした文化芸術振興事業等の公益事業の一環として開催した。

(会場：研修ホール等)

期 日	区 分	内 容	講 師	参加者
7月9日 (日)	全体会 【講演】	演題 「『源氏物語』を読んで日本文化を変えよう」	島内 景二 氏	144名
	第1分科会 【小説・文芸評論】	○テーマ 「自分にしか書けない短編小説を書こう」	曾原 紀子 氏	24名
	第2分科会 【エッセー・詩・童話】	○テーマ 「朗読、合評会のススメ」	藤崎 正二 氏	13名
	第3分科会 【短歌】	○テーマ 「短歌をよむ楽しさ」	志垣 澄幸 氏	39名
	第4分科会 【俳句】	○テーマ 「日常を五・七・五に」	布施 伊夜子氏	42名

※参加者数は宮崎県教職員互助会調べ。

⑥ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

自然理解及び自然環境保全の啓発活動の一環として、定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月13日(土) (第28回)	「建築と自然」	岩切 平 氏 (建築家)	25名
2	7月15日(土) (第29回)	「図書出版のすすめ～電子情報化社会における紙媒体書籍の意義～」	高見 晋一 氏 (みやざき自然塾理事)	17名
3	11月19日(日) (第30回)	第30回記念コロキウムとして開催 フォーラム「市民レベルの宮崎の国際交流を考える」 ・基調講演「わたしの国際交流40年」 講 師 平瀬 清 氏 (みやざき自然塾理事) ・レクチャーコンサート「宮崎最初の国際人：伊東マンショ」 講 師 竹井 成美 氏 (宮崎大学名誉教授) ・パネルディスカッション「市民の視点から」		33名
4	1月20日(土) (第31回)	「歯、健康、そしてスポーツ」	芝 良祐 氏 (宮崎大学名誉教授)	25名
5	3月24日(土) (第32回)	「『みやざき自然塾』のこれまでとこれから～内なる自然を求めて～」	足立 泰二 氏 (みやざき自然塾塾長)	16名

#### (14) その他の取組

県民の学習機会の提供、読書振興及び文化的なゆたかさの向上に資するため、様々な世代に向けた行事等を開催した。

##### ① 「文章づくり教室」

元高校教員で各種文芸誌の編集委員等を務める鶴ヶ野勉氏を講師として、文章をつくる楽しさや基本的な知識・技能を学ぶ教室を実施した。

回数	期 日	内 容	参加者
第1回	7月23日(日)	初級編① 「これで安心！ 読書感想文の書き方」	14名
第2回	8月26日(土)	初級編② 「400字程度の文章を書き上げ、応募してみよう。」	14名
第3回	9月24日(日)	中級編① 「文章を簡単に書く方法」を学ぼう①	10名
第4回	10月22日(日)	中級編② 「文章を簡単に書く方法」を学ぼう②	—
第5回	11月19日(日)	上級編① 本格的に書いてみよう！	7名
第6回	12月16日(土)	上級編② 書き上げた作品を批評しあおう！	10名

※第4回は台風接近のため開催中止。

##### ② プレミアムフライデーは県立図書館へ！

働く世代と家族向けのミニイベントをプレミアムフライデーと連動して企画し、図書館を利用したライフスタイルと読書活動を提案した。

期 日	内 容	期 日	内 容
5月26日(金)	児童室前で自由読書&ミニ 映写会	9月28日(木)	レコードコンサート
6月30日(金)	県立図書館で健康づくりし ませんか	10月27日(金)	“目からウロコ” コミュニ ケーション講座
7月28日(金)	調べる学習おたすけ講座～ 自由研究にも役立ちますよ	11月24日(金)	超入門古文書講座～くず し字をマスターしよう
8月25日(金)	“親子で体験”「おすすめの 本」のPOPをつくろう！	12月22日(金)	大人のためのブックトーク

##### ③ 「大人のためのおはなし会」

子どもだけでなく大人自身が絵本を楽しむ読書スタイルが広がりを見せていることから、子育て世代を中心として絵本に関心のある大人を対象に、児童図書室担当職員による絵本の読み聞かせを実施した。

- ・開催状況 第1回 平成29年 8月11日(金)
- 第2回 平成29年11月23日(木)
- 第3回 平成30年 1月28日(日)
- 第4回 平成30年 3月21日(水)



#### ④ 「理科読」出前授業

子どもたちの科学・理科に対する好奇心や学ぶ意欲を育む取組である「理科読」を広めるため、講師としてNPO法人ガリレオ工房の土井美香子氏を招き、科学に関する本の読み聞かせと理科の実験を組み合わせた「理科読」出前授業を実施した。

期 日	内 容	参加者
8月30日 (水)	対 象：小学2～4年生 テーマ：「にじ色のひみつ（光の性質）」	12名×2回実施
12月25日 (月)	対 象：小学2～4年生 テーマ：「見えるふしぎ（光の性質）」 研 修：人材養成を目的として、公共図書館職員や教職員等を対象とした出前授業風景の見学と研修会も実施	12名（授業） 20名（研修）

### 3 各種協議会等

#### (1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び県立図書館条例（昭和25年条例第49号）第2条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

#### ① 委 員（任期：平成28年7月1日～平成30年6月30日）

区 分	所属・職名	氏 名	区 分	所属・職名	氏 名
社会教育 関係者	宮崎大学地域資源創生 学部准教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社 生活文化部次長	川路 善彦
〃	日南市立図書館長	岡本 武憲	〃	(株)グローブ・プロダ クツ代表取締役	内田 五郎
学校教育 関係者	宮崎県立都城泉ヶ丘 高等学校長	長津 和彦	家庭教育向上 活動を行う者	宮崎県PTA連合会 副会長	甲斐 淳子
〃	宮崎市立東大宮中学校 教諭	増岡 礼二郎	〃	特定非営利活動法人みやざ き子ども文化センター理事	長谷川 恵子
社会教育 関係者	南九州短期大学准教授 (公募委員)	柚木崎 千春	〃	主婦(公募委員)	大西 恵美

※所属・職名は平成30年3月2日現在。一部委員につき任期途中の交代があった。

#### ② 平成29年度の開催状況（2回開催）

開催年月日	協 議 事 項
平成29年8月9日(水)	ア 宮崎県立図書館の動向について イ 図書館評価について ウ 宮崎県立図書館ビジョン（仮称）策定の考え方について エ その他
平成30年3月2日(金)	ア 平成29年度の主な動きについて イ 宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」について ウ 平成30年度の取組について エ その他

## (2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

平成29年度は、下記のと通りの事業を実施した。

### ① 役員名簿（平成29年度）

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	金子洋士	
副会長	日南市立図書館長	岡本武憲	
〃	五ヶ瀬町教育委員会図書室長	猪野貴一	
監事	町立高鍋図書館長	川野文明	
〃	川南町立図書館長	巻庄次郎	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷正	
〃	宮崎県町村会長	黒木定藏	

### ② 事業実績

#### <会議>

期日	会場	議題
平成29年 5月29日	県立図書館	I 総会 1 平成28年度事業実績及び収支決算報告 2 平成29年度事業計画案及び収支予算案 3 平成29年度役員選出 II 表彰式 III 事務連絡 (1) 県立図書館各担当 ・県立図書館利用の手引きの説明 ・有料宅配サービス (2) 環境情報センター ・出前講座の紹介等 (3) 生涯学習課 ・専門研修について IV 分科会 1 管理担当者部会 ・図書館経営全般について ・司書の就業環境について ・相互貸借について 等 2 実務担当者部会 ・書庫に資料を下げる基準について ・相互貸借に関する貸出制限・送付基準について ・選書の方法、流れについて ・実務者の研修(OJT)について 等
平成30年 3月5日	県立図書館	中心館会議 1 平成29年度各支部の事業執行状況について 2 平成30年度に向けて

<研 修>

期 日	会 場	議 題
平成29年 6月26日	県立図書館	職員研修会 ・講 義 「図書館の課題解決支援サービス入門～行政・議会との連携から始めよう～」 講 師 豊田 高広 氏（愛知県田原市中央図書館長）
平成29年 7月 3日	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） ・説 明 「図書館ネットワークの活用法について」 ・講 義 「資料の収集等について」 ・講 義 「著作権について」 ・ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」
平成29年 7月24日	県立図書館	専門研修会 ・講 義 「乳幼児への図書館サービス」 ワークショップ 「体験！マタニティおはなし会」 ワークショップ 「実践！マタニティおはなし会」 講 師 下吹越 かおる 氏（鹿児島県指宿市立指宿図書館長）
平成29年 9月25日	都城市立 図書館	地区別研修会 ・講 義 「児童サービス担当から始まる地域資源再発見」 講 師 島津 芳枝 氏（大分県宇佐市民図書館副主幹）
平成29年 10月23日	県立図書館	専門研修会 ・講 義 「認知症の理解」 講 師 小川 尊之 氏（九州保健福祉大学保健科学部作業療法学科教授） ・講 演 「日向コミュニティーセンターにおける認知症の人にも優しい図書館づくり」 講 師 成合 進也 氏（社会福祉法人日向市社会福祉協議会地域福祉課長） ・講 義 「川崎宮前図書館における認知症の人にも優しい図書館づくり」 講 師 舟田 彰 氏（川崎市立図書館宮前図書館係長）
平成30年 2月13日	県立図書館	レファレンス研修会 ・講 義 「児童書に関する調べ方」 講 師 林 嘉信 氏（国立国会図書館国際子ども図書館資料情報課情報サービス係）

<県外研修派遣>

5名

<図書館アドバイザー派遣>

9館 20名

② 平成29年度総会表彰者名簿

<読書普及優良団体・個人>

読書団体名	代表者名
さざんか童夢（川南町）	落合 洋子
「牧水歌がるた」詠み人の会（延岡市）	加藤 良恵

<優良職員>

所 属	職 名	氏 名
宮崎市立佐土原図書館	主任司書	甲斐 眞由美
えびの市民図書館	図書館スタッフ	富岡 博美

### (3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

#### ① 事業実績

##### <理事会>

平成29年5月24日(水) 会場：県立図書館研修室  
総会に諮る決算・予算、事業計画と役員の一部変更について審議が行われた。

##### <理事会・総会・研究発表会>

平成29年6月14日(水) 会場：県立図書館研修ホールほか

##### ・総会

理事会で役員の一部変更協議を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認されたほか、11月の秋季研究発表大会小林大会について、小林地区の担当者から概要説明があった。

##### ・研究発表会

みやざき民俗学会員の湯浅倉平氏に「飢肥藩の鉄山とたたらへの伝播」をテーマに講演していただいた。

##### <秋季研究発表大会>

小林大会(小林市)

平成29年11月8日(水) 参加者145名

内容 午前～視察(伊東塚、東二原下式横穴墓群ほか)

午後～研究発表

発表題：「こばやしの古墳時代～尾中原下式横穴墓群の出土例～」

講師：井上 誠二氏(小林市教育委員会社会教育課)

##### <その他>

「地方史みやざき 第62号」の発行

#### ② 役員及び加入団体

<役員> 任期：平成28年6月～平成30年6月

会 長 橋本 孝則(都城史談会)

副会長 後藤 博文(延岡史談会)、本山 隆義(北郷町史談会)

監 事 原口 勝(佐土原地区郷土史同好会)、湯浅 倉平(個人理事)

地区理事 柏田 公和(日向市史談会)、牧 貴(日向郷土文化研究所)

亀澤 轟幸(えびの市史談会)、齋藤 勉(小林史談会)

石川 正男(日南郷土史会)

顧 問 杉尾 良也(宮崎県地方史研究会)、飛田 博温(高鍋史友会)

事務局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

(平成30年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	後藤 博文	延岡市	佐土原地区郷土史同好会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田 公和	日向市 教育委員会	えびの市史談会	亀澤 轟幸	えびの市
木城史友会	原 朋輝	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	岩切 昭一	高鍋町	都城史談会	橋本 孝則	都城市
宮崎考古学会	岩永 哲夫	宮崎市	南九州文化研究会	山下 博明	都城市
宮崎県地方史研究会 ※休会	杉尾 良也	宮崎市	日南郷土史会	石川 正男	日南市
宮崎県総合博物館	長友 重俊	宮崎市	串間史談会	吉田美代治	串間市 教育委員会
宮崎県民俗学会	原田 解	宮崎市	北郷町史談会	本山 隆義	日南市
宮崎県埋蔵文化財 センター	菅付 和樹	宮崎市			
日向郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市			

○団体会員：17団体 個人会員：6名

## (4) 平成30年度宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏名	所属等	委員種類
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育学部教授	個人委員
2	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	〃
3	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	〃
4	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部准教授	〃
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	〃
6	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	〃
7	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	〃
8	語学（英語）	キム・ヘイン	オールみやざき営業課国際交流員	〃
9	〃（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	〃
10	〃（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	〃
11	〃（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	〃
12	〃（外国語一般）	稲吉 孝和	宮崎県国際交流協会常務理事	〃
13	文学	大津 貞子	宮崎児童文学まりの会会長	〃
14	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	〃
15	自然科学・歴史	黒木 義博	県総合博物館長	あて職委員
16	美術	飛田 洋	県立美術館長	〃
17	行政	藤山 雅彦	企業振興課長	〃
18	教育	坂元 巖	教育研修センター所長	〃
19	産業（フードビジネス）	本崎 栄治	宮崎県産業振興機構経営情報課長	〃
20	健康	和田 陽市	都城保健所長兼小林保健所長	〃
21	衛生・環境	有島 勉	衛生環境研究所長	〃
22	工学	野間 純利	工業技術センター所長	〃
23	土木・建築	大坪 正和	技術企画課長	〃
24	農業	甲斐 典男	総合農業試験場長	〃
25	水産	田中 宏明	水産試験場長	〃
26	畜産	花田 広	畜産試験場長	〃
27	林業	廣津 和夫	林業技術センター所長	〃
28	体育	四位 久光	スポーツ指導センター所長	〃
29	福祉（障がい者）	矢野 慶子	障がい福祉課長	〃
30	考古学	長峯 勝志	埋蔵文化財センター所長	〃

## 【 参考資料 】



# 1 沿革

## (1) 県立図書館の歩み

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m <sup>2</sup> (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m <sup>2</sup> (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む。) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m <sup>2</sup> (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。
昭和 49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和49年 3月	蔵書目録第4巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会（27日～29日 中小企業センターほか）を開催。
昭和50年 3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年 1月	郷土文化講座（4講座）に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。 蔵書目録第5巻（昭和48年度までの補遺）刊行。
昭和52年 3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻（昭和49年度増加目録）刊行。
昭和53年 1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻（昭和50年度・51年度増加目録）刊行。
昭和54年 3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N. D. C8版・N. C. R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設（2万冊を2万4千冊に）。
昭和55年 3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年 1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年 3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施（12月まで）。
12月	西日本子ども文庫寄贈（第5回目200冊）西日本新聞社。
昭和58年 1月	日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）。
3月	宮崎県地方史研究紀要第9輯刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈（「やまびこ」5 号車運行開始。）。 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀観資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。
昭和 63 年 10 月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11 月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成 元年 2 月	全国図書館大会準備会発足。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 元年 2月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書館展」「稀観資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成 2年 1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成 3年 1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶠南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成 4年 3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成 5年 2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称Myline）運用開始（当初5市町村加入）。
平成 5年 7月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。
平成 6年 1月	「杉田文庫 常設展」開催。
3月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 6 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかけ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。
8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業特別展「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 11 年 3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）。
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。
4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 17 年 5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	中村地平生誕 100 年記念講演会開催。 「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 2 月	「子育て支援コーナー」の開設。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県文化講座研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。



年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 22 年 4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 AV コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9 月 26 日から 11 月 26 日まで）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3, 000 冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。 閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアデイジー体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 39 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。 子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。 置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 5 月	伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」(語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉)を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十五)刊行。
4 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始。
5 月	在福岡アメリカ領事館首席領事による英語読み聞かせ会開催。
9 月	知事とのふれあいフォーラム開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 27 年 1 月	在福岡アメリカ領事館(福岡アメリカンセンター)及び宮崎国際大学との共催による「アメリカンシェルフプロジェクト講演会『マンガを使って英語を教える・学ぶー漫画家が伝授する英語の上達法ー』」開催。
2 月	新県立図書館システム(iLisfiera V3)稼働。
3 月	障がい者サービス開始。 宮崎県文化講座研究紀要第 41 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十六)刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長。 「日本一の読書県づくり」プロジェクト発足。 県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始。
7 月	九州地区図書館の集いを共催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 28 年 2 月	閲覧室の持込用パソコンコーナーを 6 席増設(全 20 席)。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 42 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十七)刊行。 移動図書館車「やまびこ」廃止(平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行)。
4 月	新マイラインサービス開始。 県立図書館公式フェイスブックページを開設。
5 月	県立図書館ビジョン懇談会発足。 伊藤一彦名誉館長おすすめの本のコーナー展示開始。
6 月	移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式。「やまびこ文庫」開始。
8 月	宮崎県立宮崎海洋高等学校の実習船による長期乗船実習への「やまびこ文庫」の貸与式。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 伊藤一彦名誉館長とともに若山牧水のふるさとを訪ねる「牧水が見た風景」開催。 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」とりまとめ。
12 月	未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 29 年 1 月	在福岡アメリカ領事館領事による英語読み聞かせ会開催。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 43 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十八）刊行。
4 月	伊藤一彦氏が名誉館長に再任。 ストリートブックフェア in みやざき国際ストリート音楽祭 2017 にて「日本一の読書県」にちなむ出展PRを実施。
5 月	働く世代と家族向けのミニイベントをプレミアムフライデーと連動して12月までの毎月1回企画し実施。
6 月	若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全 878 冊）。 「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」で県内高校生におすすめの本を募集（～10 月）。
8 月	大人のためのおはなし会開催（11 月、平成 30 年 1 月及び 3 月にも開催）。 小学生向けの「理科読」授業開催（指導者養成研修を兼ねて 12 月にも開催）。
10 月	名誉館長文化講演会「若山牧水と『創作』」開催。 「みどりの図書館フェスタ」台風接近による天候不良のため開催中止。
12 月	「宮崎県立図書館ビジョン」策定。 トークセッション「私のすすめるこの一冊～高校生の声～」開催。 未来へつなぐみやざきの神話・民話継承人財育成事業「語り部のつどい」開催。 「かば先生文庫」寄贈 5 周年記念おはなし会開催。
平成 30 年 2 月	若山牧水没後 90 年企画「若者たちよ！いざ牧水を語ろう～対談・討論・読書活動の集い～」を宮崎大学と連携して開催。
3 月	宮崎県立図書館ビジョン「第 1 期アクションプラン」策定。 宮崎県文化講座研究紀要第 44 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十九）刊行。

## (2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼	27	昭和 47. 4	昭和 48. 3	杉田 利治	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学 兼	28	" 48. 4	" 51. 3	藪田 穂	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 主事兼	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保博秋	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	52	" 29. 4		金子 洋士	"

## 2 県立図書館条例・規則

### (1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)  
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

**第1条** 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

**第2条** 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

**第3条** この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則 (昭和31年4月13日条例第21号抄)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和39年4月1日条例第36号抄)

1 この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則 (昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### (2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第 3号)  
(最終改正 平成30年3月 教育委員会規則第11号)

#### 第1章 総則

(趣旨)

**第1条** この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

#### 第2章 組織及び職制

##### 第1節 組織

(課の設置)

**第3条** 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課  
情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

## 第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館長	館長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	副館長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	専門技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。



(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、図書館に、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

### 第3章 図書館奉仕

#### 第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年の1月4日まで（前号に掲げる日を除く。）

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

#### 第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写1面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円



(図書館資料の複写の制限)

**第17条** 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
- (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
- (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料  
(複写物の利用上の責任)

**第18条** 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。  
(参考調査相談)

**第19条** 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

- 2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。  
(回答を行わない事項)

**第20条** 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

### 第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

**第21条** 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

**第22条** 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

- 2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

- 3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。  
(団体文庫及び巡回文庫)

**第23条** 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

- 2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。  
(視聴覚機器の館外利用)

**第24条** 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

- 2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

**第25条** 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料  
(図書館資料等の館外利用の停止等)

**第26条** 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

**第27条** 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

**第28条** 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

**第29条** 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

#### 第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

**第30条** 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

**第31条** 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

**第32条** 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

#### 第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

**第33条** 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

**第34条** 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

**第35条** 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

#### 第4章 雑則

(委任)

**第36条** この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

##### 附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
- (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

- 附 則** (平成2年4月17日教育委員会規則第8号)  
この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (平成4年8月25日教育委員会規則第8号)  
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
- 附 則** (平成7年3月31日教育委員会規則第10号)  
この規則は、平成7年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成8年3月29日教育委員会規則第4号)  
この規則は、平成8年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成9年5月22日教育委員会規則第5号)  
この規則は、平成9年6月1日から施行する。
- 附 則** (平成13年3月30日教育委員会規則第9号)  
この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成16年3月29日教育委員会規則第8号)  
この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成18年3月30日教育委員会規則第12号)  
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成19年3月30日教育委員会規則第3号)  
この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成20年3月31日教育委員会規則第6号)  
この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年2月21日教育委員会規則第1号)  
この規則は、平成23年3月1日から施行する。
- 附 則** (平成23年7月21日教育委員会規則第4号)  
この規則は、平成23年8月1日から施行する。
- 附 則** (平成27年3月31日教育委員会規則第10号)  
この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成30年3月29日教育委員会規則第11号)  
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

### (3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条** 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条** 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条** 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則**  
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

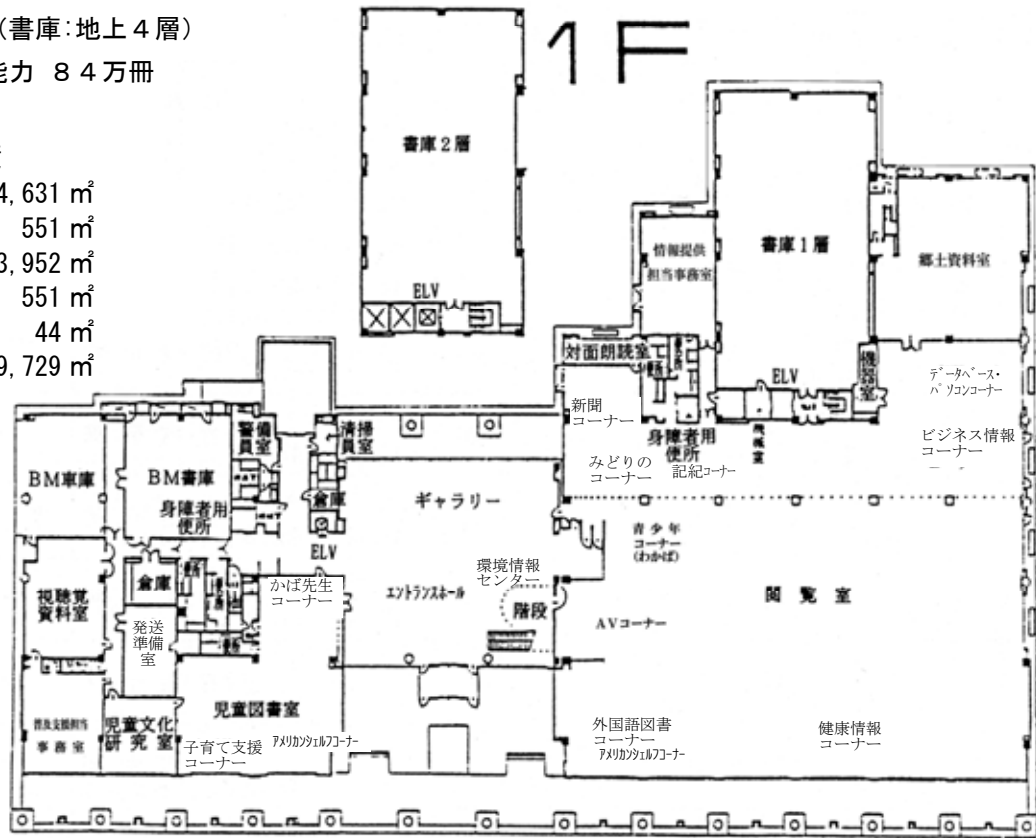
### 3 施設概況

#### (1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造  
 地上2階（書庫：地上4層）  
 図書収蔵能力 84万冊

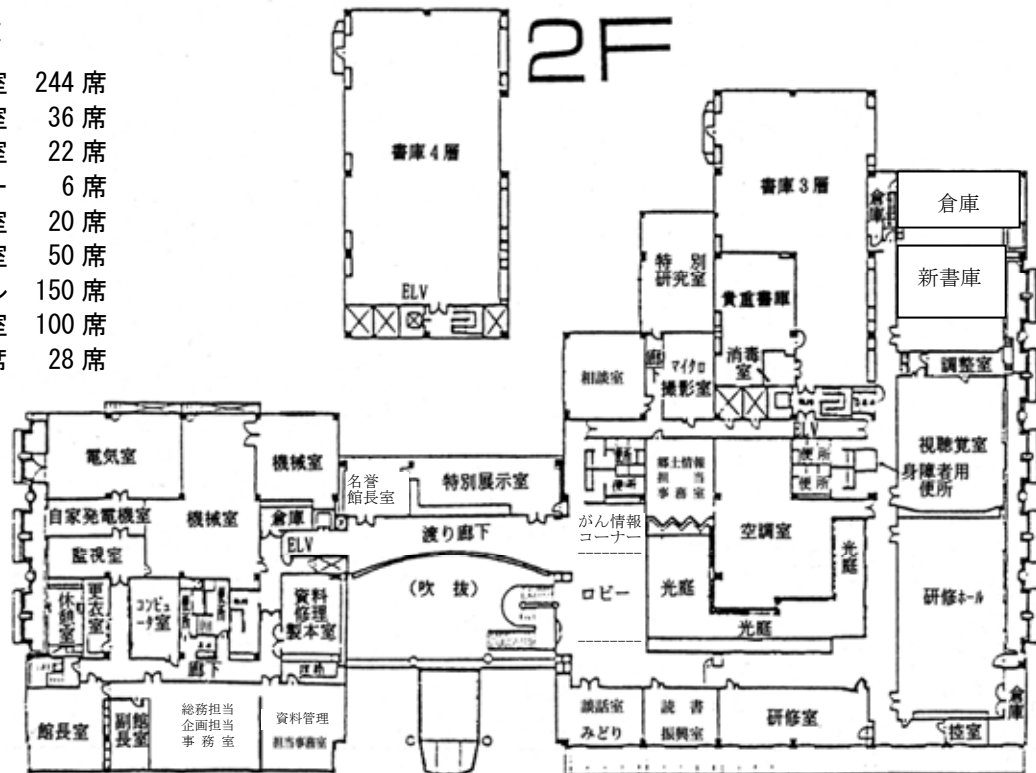
#### (2) 床面積

1階 4,631 m<sup>2</sup>  
           551 m<sup>2</sup>  
 2階 3,952 m<sup>2</sup>  
           551 m<sup>2</sup>  
 屋階 44 m<sup>2</sup>  
 合計 9,729 m<sup>2</sup>



#### (3) 座席数

一般閲覧室 244席  
 郷土資料室 36席  
 児童図書室 22席  
 AVコーナー 6席  
 読書振興室 20席  
 研修室 50席  
 研修ホール 150席  
 視聴覚室 100席  
 パソコン席 28席



## 4 利用案内

### (1) 開館・休館

#### ① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

#### ② 休館日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（平成31年2月18日～平成31年2月25日）

### (2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

### (3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ	情報提供課情報提供担当

### (4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

### (5) 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp（代表）

service@miyazaki-pref-lib.jp（サービス）

soudan@miyazaki-pref-lib.jp（レファレンス）

### (6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

※フェイスブックページ <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>



## 5 市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	二宮 俊尚	〒880-0930 宮崎市花山手東3丁目25番地3 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158	平 6. 5
宮崎市立佐土原図書館	関屋 和光	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20527番地4 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066	平16. 4
都城市立図書館	井上 康志	〒885-0071 都城市中町16街区15号 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251	昭23. 4
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	〒885-1202 都城市高城町穂満坊105番地 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245	平21. 4
延岡市立図書館	丸山 奈緒美	〒882-0812 延岡市本小路39番地1 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644	大 7. 7
延岡市立図書館北方分館	稲村 斎 (兼)教委北方室長	〒882-0125 延岡市北方町川水流卯1236番地2 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201	平13. 4
延岡市立図書館北浦分館	梅田 勝徳 (兼)教委北浦室長	〒889-0301 延岡市北浦町古江1943番地1 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466	平24. 3
延岡市立図書館北川分館	赤木 正久 (兼)教委北川室長	〒889-0192 延岡市北川町川内名7250番地 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065	平25. 4
日南市立図書館	影山 逸郎 (兼)生涯学習課長	〒889-2535 日南市飢肥2丁目6番18号 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200	昭25. 1
日南市立まなびピア図書館	影山 逸郎 同上	〒887-0013 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内 TEL 0987-22-5666 FAX -----	平14. 3
日南市立北郷図書館	影山 逸郎 同上	〒889-2402 日南市北郷町郷之原乙1570番地 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469	平元. 8
日南市立南郷図書館	影山 逸郎 同上	〒889-3204 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内 TEL 0987-64-0924 FAX 0987-64-0930	平 7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 小林市細野367番地1 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-4333	明41. 6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 小林市野尻町東麓1183番地2 TEL 0984-44-1100 FAX -----	平22. 3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 小林市須木中原1741番地1 TEL 0984-48-2954 FAX -----	平22. 3

館名	館長名	所在地	創設年月
日向市立図書館	海野 真里	〒883-0035 日向市春原町1丁目47番地 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444	昭24. 4
串間市立図書館	黒木 さやか	〒888-0001 串間市大字西方6524番地58 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803	昭51. 4
西都市立図書館	蓑方 政幾 (兼)社会教育課長	〒881-0003 西都市大字右松2606番地1 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113	昭49.12
えびの市民図書館	荒谷 貴宏	〒889-4311 えびの市大字大明司2146番地2 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040	昭50. 7
三股町立図書館	宮内 浩二郎 (兼)教育長	〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751	平13. 4
国富町立図書館	松岡 徳 (兼)社会教育課長	〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558	平17. 4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 東諸県郡綾町大字北俣462番地2 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585	平16. 7
町立高鍋図書館	稲井 義人 (兼)社会教育課長	〒884-0003 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153	昭30. 3
新富町図書館	河野 佐知子	〒889-1403 児湯郡新富町大字上富田6345番地5 TEL 0983-32-7878 FAX 0983-33-5928	平28. 4
川南町立図書館	丸濱 晃一	〒889-1302 児湯郡川南町大字平田2386番地3 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100	平11. 4
都農町民図書館	黒木 和秀 (兼)社会教育課長	〒889-1201 児湯郡都農町大字川北5448番地2 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683	昭50.12
門川町立図書館	松田 朝子	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024	平14. 3
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代645番地1 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636	平11. 4
美郷町立北郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒889-0901 東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193	平15. 5
美郷町立南郷図書館	大坪 隆昭 同上	〒883-0306 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-0129	平24. 4
高千穂町立図書館	濱田 琢一 (兼)教育長	〒882-1101 西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515	昭49. 7





みどりの  
図書館

Live!  
Library

Miyazaki Prefectural Library

## 宮崎県立図書館

どこでも・ささえる・つながる図書館

### 所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

### 電話

#### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

#### 情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

### ファクシミリ

#### 総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

普及支援担当 0985-29-2961

#### 情報提供課

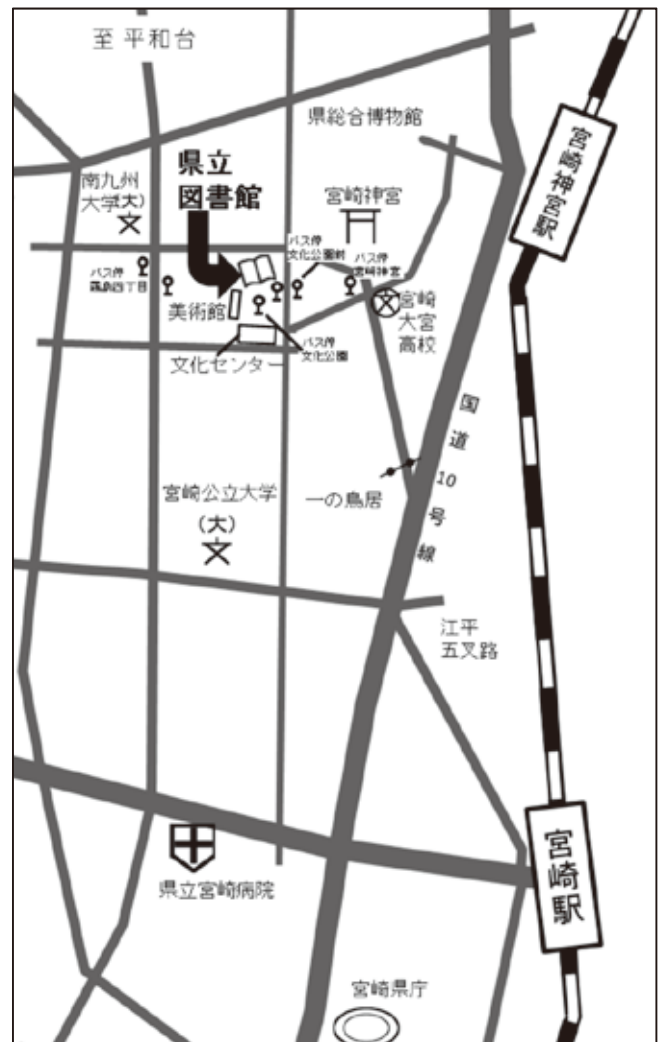
情報提供担当 0985-22-9070

### 電子メール

ryokuin@miyazaki-pref-lib.jp (代表)

### ホームページアドレス

<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



平成30年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月 平成30年6月

発行人 宮崎県立図書館